事務事業コード
 021200
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 里山交流促進モデル事業
 所属名
 企画推進部地域振興局
 地域振興課

1	Ħ	-	小主	ᇷ

	T THIS IN							
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分		
置計	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成22年度 ~ 全期	
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			担加法人	鳥取市中山間地域対策強化方	
17 0	1					根拠法令、 針、鳥取県みんな 根拠計画等 山間地域振興条例		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山四寸		
目施 世策	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付	
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 里	山交流促進	モデル事業費			予算事業コード	01-02-01-07-32-09	

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市内に住所を有する各種団体
	むらとまちの交流によりそれぞれの地域の魅力と中山間地域が持つ機能・役割について理解を深め、相互が連携した共存共栄の地域づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	交流実施団体が相互交流を企画運営するための経費を支援する

3.	3.事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入									
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
内容	年度	E別計画	①交流支援:6交流	①交流支援:4交流	①交流支援:4交流	①交流支援:4交流	①交流支援:4交流			
谷	年度	E別実績	①交流支援:1交流							
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
		貴(A+B)	62	0	0	0	0			
事	直接	経費 A	62	0	0	0	0			
業	直接経	国・県	18	0	0	0	0			
費	世族程費の財	地方債	0	0	0	0	0			
	源内訳	その他	0	0	0	0	0			
		一般財源	44	0	0	0	0			

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		年間の交流数	交流	目標	6	4	4	4	4
	1		文加	実績	1	0	0	0	0
\-		(指標の説明)事業を活用して実施さ	れた交流	流数。					
活動				目標	0	0	0	0	0
動 指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
121				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5	5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予				早事務事業の事業概要と連動)	
Г			【問合せ先】振興係	K 0857-20-3185		
			【10次総の施策体	本系】3202		
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	目次:当初予算・P 5:	2(地003)	
			などの市民との交流 農山村と都市双力 互に価値を認め合い	だ活動を支援し、むら	とまち双方の活性化を 山間地域の多面的機能 めの貴重な交流機会を	を再認識するとともに、相 創出する。
		事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成26年度 平成27年度 平成28年度	6交流12団体 580 ⁻¹ 2交流4団体 131 ⁻¹ 1交流2団体 63 ⁻¹	f円	
				屋や新たな交流実施希望		とともに、補助期間終了後 的な取組みとなるよう支援
.	`~		_			
_		まじゅうをまる プロロロ				
6).	動指標の達成率【CHEC ・ ・ ・ おき		┃ 亚成28年度 ┃ 平成	20年度 平成30年度	┃ 亚成31年度 ┃ 平成32年度
		年間の交流数	ベ】 漂名	平成28年度 平成 17%	29年度 平成30年度	平成31年度 平成32年度
1 村	指票 2	指・ 年間の交流数			29年度 平成30年度	平成31年度 平成32年度
非相 違用	指票 主 1 1 1 2 1	指 年間の交流数 2			29年度 平成30年度	平成31年度 平成32年度
非相 違用	指票 2 主 3	指 年間の交流数 2			29年度 平成30年度	平成31年度 平成32年度
	指票達或率 7. 評	指 年間の交流数 2 3 3 6価【CHECK】	票名	17%		
	指票達	指 年間の交流数 2 3 価【CHECK】	漂名 評価内容	17%	西理由(評価の視点を踏	まえて記入)
	指票達或率 7. 評評·	指 年間の交流数 2 3 「価【CHECK】 価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり	17%		まえて記入)
	1 2 3 平平 3 平平 3 平平 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指 年間の交流数 在 「 に に に に に に に に に に に に に に に に に	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了	17% 評値 既存交流の実施や他	西理由(評価の視点を踏事業活用により実績件)	まえて記入) 数が減少している。
	台票主式率 7. 事業が3月 実施3月	指 年間の交流数 在 「CHECK」 「価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る	17% 評価 既存交流の実施や他 既存交流の実施や他 ら、交流事業は外部が	西理由(評価の視点を踏事業活用により実績件等	まえて記入)
	指票主式率 7. 事画U 指標プラブ	指 年間の交流数 「在【CHECK】 「価項目と評価の視点 「年度計画の進捗度」 「動すづの入力結果を基に、年度の事業 引末時点でどのような進捗状況かを選 こさい。 事業の成果	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どお完了 1. 目標を上回る 2. 目標をより 3. 目標を下回る 3. 目標を下回る	17% 評値 既存交流の実施や他 既存交流の実施や他	西理由(評価の視点を踏事業活用により実績件等	まえて記入) 数が減少している。
	台票主式 名 3 事画して 指標達 乗回して 指標達 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指 「年間の交流数 「一個でででででできます。 「一個では、「」」」 「「一個では、「」」」 「「「」」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」 「「」」」 「「」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」 「「」」 「「」」 「「」 「「」」 「「」」 「「」	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どお完了 1. 目標を上回る 2. 目標をより 3. 目標を下回る 3. 目標を下回る	17% 評価 既存交流の実施や他 既存交流の実施や他 ら、交流事業は外部が	西理由(評価の視点を踏事業活用により実績件等	まえて記入) 数が減少している。
すれ 近月 五 フ 四計択 俳標	台票主式 名 3 事画して 指標達 乗回して 指標達 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指 「年間の交流数 「在【CHECK】 「価【CHECK】 「価項目と評価の視点 「年度計画の進捗度 「別別である。」 「別別である。 「日本時点でどのような進捗状況かを選集とさい。 「日本時点でどのような進捗状況がを選集とさい。」 「日本時点でどのような進捗状況がを選集とさい。」 「日本時点でどのような進捗状況がを選集とされ、年度末実績が目また。」 「日本時点でどうかを選択してください。」 「日本時点でどうかを選択してください。」 「日本時点でどうかを選択してください。」 「日本時点でというなどうかを選択してください。」 「日本時点でというなどうかを選択してください。」 「日本時点できたかどうかを選択してください。」 「日本時点できたかどうかなまた。」 「日本時点できたかどうかな進行」 「日本時点できたかどうかな進行」 「日本時点できたかどうかなどうからないまた。」 「日本時点できたかどうかなどうからないまた。」 「日本時点できたかどうからないまた。」 「日本時点できたかどうからないまた。」 「日本時点できたからないまた。」 「日本時点できたからないまたからないまた。」 「日本時点できたからないまたからないまた。」 「日本時点できたからないまたからないまたからないまた。」 「日本時点できたからないまたからないまたからないまたがらないまためらないまたからないまたがらないまためらないまたがらないまた	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標を下回る 3. 目標を下回る 5. 可性【ACTION】	17% 評価 既存交流の実施や他 既存交流の実施や他 ら、交流事業は外部が	西理由(評価の視点を踏事業活用により実績件を 事業活用により実績件を 事業活用により実績件を	まえて記入) 数が減少している。 数が減少している。しかしなが ることができ、地域活性化に
すれ 近月 五 フ 四計択 俳標	台票主式 名 3 事画して 指標達 乗回して 指標達 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	指 「年間の交流数 「一個「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」 「一個「「「」」」」」 「一個「「「」」」」 「一個「「」」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」 「「」」 「「 「「 「「 「	標名 評価内容 1. 計画を上り 3. 事業未完了 1. 目標を上のる 2. 目標をおおり 3. 目標を下のる 1. 1 根である 2. は悪極を下のる	評価 既存交流の実施や他 既存交流の実施や他 ら、交流事業は外部が 必要な支援と考える。	西理由(評価の視点を踏事業活用により実績件等 事業活用により実績件等 いの視点で地域を考え は □ 4-1 意 ・ 増加 □ 4-2 制	(まえて記入) 数が減少している。 数が減少している。しかしなが ることができ、地域活性化に 図的に縮小 度的に自然減少
すれ 近月 五 フ 四計択 俳標	台票主式 名 3 事画して 指標達 乗回して 指標達 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	指 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	標名 評価内容 1. 計計書 である 2. 事標を上おり 3. 目標を上おい回る 2. 目標を上おい回る 1. 目標をおい回る 1. は、	評価 既存交流の実施や他 既存交流の実施や他 ら、交流事業は外部が 必要な支援と考える。 コー1 意図的に拡充 コー2 制度的に自然 2-1 手段等の改善 コー2 効率化、簡素	西理由(評価の視点を踏事業活用により実績件等事業活用により実績件等の視点で地域を考え は増加 ロ 4-2 制 に ロ 5-1 臨 化 ロ 5-2 意	(まえて記入) 数が減少している。 数が減少している。しかしなが こることができ、地域活性化に 図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図的に休止 図的に廃止
すれ 近月 五 フ 四計択 俳標	台票主式 本 7. 事画して 指標達 事	指 「年間の交流数 「在【CHECK】 「価【CHECK】 「価項目と評価の視点 「年度計画の進捗度 「別別である。」 「別別である。」 「日本時点でどのような進捗状況かを選 「日本時点でどのような進捗状況がを選 「日本時点でどの大うかを選択してください。 「日本時点できたかどうかを選択してください。」 「本語の表現である。」 「日本時点では、年度末実績が目 「日本時点できたかどうかを選択してください。」 「日本時点できたかどうかを選択してください。」 「日本時点できたかどうかを選択してください。」 「日本時点できたかどうかを選択してください。」 「日本時点できたかどうかを選択してください。」 「日本時点では、年度末実績が目」 「日本時点では、日本時点できたかどうかを選択してください。」 「日本時点では、日本には、日本時点では、日本時点では、日本時点では、日本時点では、日本時点では、日本時点では、日本時点では、日本時点では	標名 評価内容 1. 計計計画をお完了 1. 目標である 2. 目標でを上お下回る 2. 目標でを上お下回る 2. 目標をお下回る 2. 目標をお下回る 3. 目標をよれで回る 4. は、強続持 4. な現が、廃止、終了	評価 既存交流の実施や他 既存交流の実施や他 ら、交流事業は外部が 必要な支援と考える。 コー1 意図的に拡充 コー2 制度的に自然 1-2 制度的に自然 2-1 手段等の改善 2-1 手段等の改善 2-2 効率化、簡素 コー2 制度的に自然 2-3 他事業との統 の視点から地域を見直す機会と	西理由(評価の視点を踏事業活用により実績件等 事業活用により実績件等 事業活用により実績件等 事業活用により実績件等 よらの視点で地域を考え は増加 ロ 4-1 意 増加 ロ 5-1 臨 化 ロ 5-2 意 合 ロ 5-3 制	(まえて記入) 数が減少している。 数が減少している。しかしなが こることができ、地域活性化に 図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図的に休止 図的に廃止

事務事業⊐ート 021300 **重点施策** 該当なし 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 過疎・中山間地域振興推進員設置事業(地域振興監) 所属名 企画推進部地域振興局 地域振興課

1	Ħ	-	小主	ᇷ

	T THIS IN							
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分		
置合	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	ı	事業期間	平成24年度 ~ 平成32年度		
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、		
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興	依拠法市、 根拠計画等			
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山四寸		
日施	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)	
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	直営	
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 過過	東・中山間均	也域振興推進員設置事	業費		予算事業コード	01-02-01-07-32-04	

2. 事業目的【PLAN】

	中山間地域に暮らす人、地域
対象 (何を、誰を)	
(172(1122)	
意図	このままずっと住み続けたいと思える安全・安心で活気のある山里、そして、都会に暮らす人たちが、移り住ん
(どのような状態	でみたいと思える魅力ある中山間地域を形成していくことをめざすため。
にするために)	
	中山間地域振興推進員を配置しきめ細かな地域活動支援に取り組む。
手段	
(どうするのか)	
1	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>3.</u>	. 事業の年度別計画		·美稹【PLAN·DO】		<u>取り組みを間深に記入</u>		
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画		①見守り活動(7集落) ②地域活性化事業の実施支援、まちむら交流の促進支援 ③中山間地域の状況把提、課題解決・振興等 ④集落実態調査分析 ⑤元気塾サポート	施支援、まちむら交流 の促進支援 ③中山間地域の状況把 握、課題解決・振興等	①見守り活動 ②地域活性化事業の実施支援、まちむら交流 の促進支援 ③中山間地域の状況把 握、課題解決・振興等 ④元気塾サポート	①見守り活動 ②地域活性化事業の実施支援、まちむら交流 の促進支援 ③中山間地域の状況把 握、課題解決・振興等
台	年度	E 別実績	①見守り活動(7集落) ②地域活性化事業の実施支援、まちむら交流の促進支援(7団体) ③中山間地域の状況把提表、課題解決・振興等 ④集落実態調査分析 ⑤元気塾サポート(地域4回、テーマ15回)				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	5,489	0	0	0	0
事		経費 A	5,489	0	0	0	0
業	古拉尔	国・県	1,060	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,429	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		活性化事業支援数	仕	目標	15	12	12	12	12
	1		11	実績	17	0	0	0	0
ут.		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1024				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5	5. 平	成28年度の事務事業実		※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
			【問合せ先】振興係	0857-20-3185
			【10次総の施策体	系】3202
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・P51(地002)
			落支援員制度を活用	安心な暮らしを確保するとともに、賑わいづくりを推進するため、集 して、中山間地域振興推進員3名を配置し、小規模高齢化集落の見守 化計画の作成支援と事業実施の支援、まちむら交流の促進支援など、 の活動を支援する。
		事務事業の実施概要		集落の見守り活動 平成28年度 7集落 おける地域活動地域づくり活動支援 平成28年度6団体支援
			等の現状把握を行い	性】 ては「買い物福祉サービス」へ移行していくが、引き続き集落、地域 集落等地域活性化事業実施支援する。市及び近隣町村の集落支援員・ 十分連携することで成果の達成が見込まれる。
L				
6	活	動指標の達成率 【CHE	ck]	
Ĺ	. ,,,		指標名	平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度
	旨 1	活性化事業支援数		113%
ì	票 2			
): 2	戊 <u>—</u> 軽 3	1		
_	, ≘π	 価【CHECK】		
		価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
		 年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	地震、大雪等自然災害が発生するなど集落対応案件も増加の中、遅延することなく見守り活動、地域活動支援を行うことができた。
計		直タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選	■ 2. 計画とあり □ 3. 事業未完了 □	ることは、ハーリア自動、丸の外自動人放と目でことが、くどに。
D	.U C \ /:	事業の成果	■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり	輝く中山間地域創出モデル事業等集落活性化事業の新規支援が5件、地域遊休施設活用支援事業1件等事業実施への積極的支援を行い地域の
		がの入力結果を基に、年度末実績が目できたかどうかを選択してください。	□ 3. 目標を下回る □	活性化に結びつけた。
_	・ 車	業の成果を踏まえた今後	_	
Ĺ). 尹	未の成未で始まんにった		1-1 意図的に拡充 □ 4-1 意図的に縮小
		^ // o 	■ 2. 改善継続 □	1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 制度的に自然減少
		今後の方向性		2-1 手段等の改善 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 2-2 効率化、簡素化 □ 5-2 意図的に廃止
L				2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 に移行していく中で、集落の巡回・状況把握等の手段の再検討を行う。引き続き集落等地域活性化
7	「 今後 わかる	当課長の評価コメント その方向性」を判断した理由が らよう、数値等を用いた具体的 と、今後の改善プランを記載)	元 1 9 / 石助が「貝い物倫性サービス」(業実施を積極的に支援する。市及び近)	に移行していく中で、集落の巡回・状況把握等の手段の再検討を行う。引き続さ集落等地域活任化 難町村の集落支援員・地域おこし協力隊と十分連携することで成果の達成が見込まれる。

 事務事業コード
 021400
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 輝く中山間地域創出モデル事業
 所属名
 企画推進部地域振興局
 地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	小手	잸	

	- 113 1 IV						
位総	体系区分	コード		名 称	·	事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	ı	事業期間	平成22年度 ~ 全期	
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	鳥取市中山間地域対策強化方
17 0	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興	依拠法市、 根拠計画等	針、鳥取県みんなで取り組む中 山間地域振興条例	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	四周20.30000000
目盤	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0)	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 輝く	中山間地域	域創出モデル事業費			予算事業コード	01-02-01-07-32-13

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	本市の中山間地域
意図 (どのような状態 にするために)	集落等の維持活性化及び地域活力の再生・創出を図る
手段 (どうするのか)	鳥取市内の各種団体(集落・各地域任意団体・NPO法人等)が行う中山間地域活性化のための計画策定及びソフト事業実施に補助金を交付し支援する

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①事業実施10団体	①事業実施10団体	①事業実施10団体	①事業実施10団体	①事業実施10団体
谷	年度	E別実績	①事業実施17団体 ・計画策定 1団体 ・ソフト事業 16団体				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	8,543	0	0	0	0
事	直接	経費 A	8,543	0	0	0	0
業	古拉尔	国・県	1,992	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	1,500	0	0	0	0
	源内訳	その他	3,059	0	0	0	0
1		一般財源	1,992	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		取組を実施した団体数	団体	目標	10	10	10	10	10	
	1			実績	17	0	0	0	0	
,_		指標の説明)補助金を活用して地域活性化に取り組んだ団体数								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
IVA				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	•	•			•	•		

г	1 /2	戊28年度の事務事業実施		※則4度の	以り組みて六件	が川〜記入(ア昇	「事務事業の事	未恢安 ()		
			【問合せ先】振興係	₹ 0857-20-3185						
			【10次総の施策体	□系】3202						
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P52 (地0	04)				
				るソフト事業を	:支援する。 分 : 補助率10 分 : 補助率 8	/10、補助金上 /10、補助金上	上限 100千円 上限 2,000千円			
	Ī	事務事業の実施概要	平成27年度 計	平成26年度 計画策定 8団体 ソフト事業 9団体 7,330千円 平成27年度 計画策定 3団体 ソフト事業13団体 7,471千円						
			【今後の課題・方向 将来を見据えた活 域振興推進員と連携	5性化計画策定と			ため各総合支所	斤や中山間地		
6	干重	助指標の達成率 【CHE								
<u>U.</u>	/白 >/		CK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
Г	T	取組を実施した団体数			·					
指	1	収組を実施した団体数		170%						
標達	2	取組で失応した凹呼気		170%						
標	2	取和で天地した凹骨数		170%						
標達成率	2 3			170%						
標達成率	2 3	E [CHECK]	≕佈内灾	170%	●小無理由()	で無の相占を踏	ナラブ 記入)			
標達成率	2 2 3 評価	西【CHECK】 西項目と評価の視点 - 庶計画の准集度	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	住民自らが意識			まえて記入) 舌性化に向けて	取組を行うこと		
標達成率 7.	2 2 3 評価 年 業績が3月末	西【CHECK】 西項目と評価の視点 E度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了	住民自らが意識	戦を持って地域	課題の解決や活		取組を行うこと		
標達成率 7.	記 2 2 3 評価 評価 年業類領	西【CHECK】 西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 未時点でどのような進捗状況かを選	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了□■ 1. 目標を上回る	住民自らが意識で、連携強化や	戦を持って地域 ○環境改善が図 「標値を上回って	課題の解決や活られている。 いるが、補助終	舌性化に向けて ・了後の取組継			
標達成率 7 1 事証別 指	2 3 評評 年 集前が3月まさい 標	面【CHECK】 西項目と評価の視点 宇度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してださい。	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了□ ■ 1. 目標を上回る□ 2. 目標どおり□ 3. 目標を下回る	住民自らが意識で、連携強化や	戦を持って地域 P環境改善が図	課題の解決や活られている。 いるが、補助終	舌性化に向けて ・了後の取組継			
標達成率 7 事順別 階標	2 3 評評 年 線月 オさい 東京から アママママママママママママママママママママママママママママママママママママ	西【CHECK】 西項目と評価の視点 医度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選れい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了□ 1. 目標を上回る□ 2. 目標どおり□ 3. 目標を下回る	住民自らが意識で、連携強化や	戦を持って地域 ○環境改善が図 「標値を上回って	課題の解決や活られている。 いるが、補助終	舌性化に向けて ・了後の取組継			
標達成率 7 事順別 階標	2 3 評評 年 線月 オさい 東京から アママママママママママママママママママママママママママママママママママママ	面【CHECK】 面項目と評価の視点 医度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 にい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 0 	住民自らが意識で、連携強化や取組件数は目事業展開が実施	戦を持って地域 ₽環境改善が図 標値を上回って 施されるよう助言	課題の解決や活られている。 いるが、補助終言及び支援を行	舌性化に向けて ・了後の取組継う必要がある。			
標達成率 7. 事間以 指標	2 3 評評 年 線月 オさい 東京から アママママママママママママママママママママママママママママママママママママ	面【CHECK】 面項目と評価の視点 E度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 未時点でどのような進捗状況かを選 にい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続	住民自らが意識で、連携強化や取組件数は目事業展開が実施を関が実施を関がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	戦を持って地域 ○環境改善が図 原値を上回って 施されるよう助言 に拡充 に自然増加	課題の解決や消られている。 いるが、補助終言及び支援を行	舌性化に向けて ・了後の取組継う必要がある。	続や効果的な		
標達成率 7. 事間以 指標	2 3 評評 年 線月 オさい 東京から アママママママママママママママママママママママママママママママママママママ	面【CHECK】 面項目と評価の視点 E度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 未時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持	住民自らが意識で、連携強化ペ 取組件数は目標事業展開が実施 11-1 意図的 11-2 制度的 12-1 手段等	職を持って地域 ○環境改善が図 原値を上回って 施されるよう助言 に拡充 に自然増加 の改善	課題の解決や消られている。 いるが、補助終 言及び支援を行 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制 ロ 5-1 臨4	活性化に向けて ・ 了後の取組継 う必要がある。 図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図	続や効果的な		
標達成率 7 事順別 階標	2 3 評評 年 線月 オさい 東京から アママママママママママママママママママママママママママママママママママママ	面【CHECK】 面項目と評価の視点 E度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 未時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	住民自らが意識で、連携強化ペ 取組件数は目標事業展開が実施 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化	職を持って地域 ○環境改善が図 標値を上回って 施されるよう助言 に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化	課題の解決や活られている。 いるが、補助終 言及び支援を行 ロ 4-1 意[ロ 4-2 制] ロ 5-1 臨4 ロ 5-2 意[活性化に向けて で で で で で で で で の 取 組継 う 必要がある。 の で の の に に に に に に に に に に に に に	続や効果的な		
標達成率 7. 事間以 指標	1 日本 年 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日	面【CHECK】 面項目と評価の視点 医度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 はい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	住民自らが意識で、連携強化ペ 取組件数は目標事業展開が実施を 1 1-1 意図的 1 1-2 制度図的 2-1 手段を化 2-2 効率化 2-3 他事業	職を持って地域 ○環境改善が図 標値を上回って に拡充 に自然善 に自然善 との統合 そである。住民自らって	課題の解決や活られている。 いるが、補助終 に及び支援を行 は4-1 意 は4-2 制 は5-1 臨4 5-2 意 は5-3 制 が主体となり、課題	活性化に向けて 子了後の取組継 う必要がある。 図的に結然意図 図的に自然減少 年実施廃止 度的に終了 を認識し地域	続や効果的な		

事務事業評価シート 事務事業コード 021500 重点施策 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 過疎地域振興事業 所属名 企画推進部地域振興局 地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	小手	잸	

	1 - 113 1 IV						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置音	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	ı		事業期間	平成23年度 ~ 平成31年度
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまち、	づくり	担加法人	鳥取市中山間地域対策強化方	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		針、過疎自立支援法、鳥取県み んなで取り組む中山間地域振興	
+/-		目標の種別			平成32年度	似灰山四寸	条例
目施 世策	買い物に不便を感	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	外部委託
0)	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 過過	束地域振興	事業費			予算事業コード	01-02-01-07-32-17

2 事業目的【PI AN】

2. 争未日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	過疎地域(用瀬地域、佐治地域、青谷地域)を含む本市中山間地域等
意図 (どのような状態 にするために)	人口高齢化の進行等に伴う本市中山間地域の諸課題の解決と活性化を担う人材養成
手段 (どうするのか)	地域づくりに取り組む人材・リーダーの養成

3 <u>事業の年度別計画・実績</u> 【PI AN DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3.	事業の:	<u> 年度別計画</u>	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	<u>取り組みを簡潔に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	麦別計画	①人材養成事業「とっ とりふるさと元気塾」 の開設	①人材養成事業「とっ とりふるさと元気塾」 の開設	①人材養成事業「とっ とりふるさと元気塾」 の開設	①人材養成事業「とっ とりふるさと元気塾」 の開設	
tr I	年度	 医別実績	①「とっとりふるさと 元気整」の開設 ・テーマ別専門講座 計12回 ・地域別出前養成講座 計4回 ・ファシリテーター養 成講座 計1回 ・全市公開講座 計2回				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	4,942	0	0	0	0
事		経費 A	4,942	0	0	0	0
業	±+±4 ∨	国・県	1,500	0	0	0	0
費	直接経 費の財		0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,442	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		【KPI】リーダー認定者数	Y	目標	192	230	250	250	0
	1		八	実績	199	0	0	0	0
ᅩ		(指標の説明) とっとりふるさと元気塾	において		一認定を授与し	た延べ人数(基	準値は平成27	'年度実績)	
活動		元気塾塾生満足度	%	目標	60	65	70	75	0
指	2		/0	実績	76.7	0	0	0	0
標		(指標の説明) 事業終了後のアンケー	小におい	ハて、塾	の満足度につい	て「満足」「や	や満足」と答えた	-人の割合	
IVA				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•	•	•		

5.	平成28年度の事務事業実施	施概要				収り組みを具体	的に記入(予算	算事務事業の事	業概要と連動)
			【問合せ先】抜	長興係	0857-20-3185				
			【10次総の旅	直策体系	系】3202				
			【予算計上の紹 予算事業別概		欠:当初予算・	P53 (地0	05)		
			【事業の概要】 人材養成塾 特産品等の開発	「とっと				・中山間地域の を養成する。)課題解決、
	事務事業の実施概要		⑤リーダ H27:①テーマ ③全市公 ⑤リーダ H28:①テーマ ③ファシ	成開一別開一別リ開整座座定門座定門一	計1回、④ 者数 計14 講座 計15[計1回、④ 者数 計21	地域内交流研f 1名 可、②地域別は ネットワーク 6 名 可、②地域別は 計1回、④④	修計3回 出前養成講座 の形成計6~ 出前養成講座 全市公開講座	つ、 計4回、 計2回、	
			【今後の課題・方向性】 多様化する地域の課題やニーズに対応できる講座内容とすること、また女性や若者等親たな塾生を掘り起こすことが必要とされている。また、地域で活動する塾生のモチベーションを高められる講座内容の検討も求められる。						
6.	活動指標の達成率【CHE	- -ck]	_	_		_		_	_
Ë		指標名	I		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	【KPI】リーダー認定者数 1				104%				
標達	2				128%	128%		†	
成 率								†	
	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点		評価内容			証価理由(重	平価の視点を踏	⋭≠えて記入)	
			計画を上回る		年度当初の計画				
			計画どおり 事業未完了						
	でください。	□■ 1.	目標を上回る		リーダー認定者	数、塾生満足	度ともに年度目	標値を上回った	-0
[指標 標を			目標どおり 目標を下回る						
<u> </u>	事業の成果を踏まえた今後	_	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	1					
<u>°.</u>	事業の以末で組みんにつ は				1-1 意図的	に拡充	□ 4-1 意		
	今後の方向性 一		改善継続 現状維持		1-2 制度的 2-1 手段等			度的に自然減少 年実施等、意図	
		□ 3. □ 4.			2-2 効率化	、簡素化	□ 5-1 協□ 5-2 意		山川一小工
-			休止、廃止、終 ¹ 学びを活かした地域活		2-3 他事業		□ 5-3 制 していくよう。地域		 ったカリキュラム開

 事務事業→・
 021600
 重点施策
 まちづくり
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 中山間地域・買い物支援事業
 所属名
 企画推進部地域振興局
 地域振興課

1	Ħ	-	小主	ᇷ

	- 113 1 IV						
位総	体系区分	コード		名 称			区分
置計	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成24年度 ~ 全期
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			扫物社会	鳥取市中山間地域対策強化方
17 O	施策	3202	魅力ある中山間地域の振興			根拠法令、 根拠計画等	針、鳥取県みんなで支え合う中 山間地域振興条例
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	化灰山画寺	国间20.300000000000000000000000000000000000
目無無	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0)	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 中山間地域・買い物支援事業費					予算事業コード	01-02-01-07-32-21

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	本市の中山間地域
意図 (どのような状態 にするために)	中山間地域における買い物環境を改善して安全安心な生活を確保する。
手段 (どうするのか)	移動販売等のビジネスを起業・拡大しようとする者の、移動販売車導入経費や調査・試行経費、運営経費の一部を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入 ※年度別の取り組みを簡潔に記入 ※年度別の取り組みを簡潔に記入 ※年度別の取り組みを簡潔に記入 ※ 中成30年度 ※中成31年度 ※中成32年度 ※中成32年度 ※中では、1000年 ※中では、1000

<u> </u>	ナルツ	一人们				小十尺/1107	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	医別計画	①無店舗地区解消数 3地区 ②支援件数 6件	①無店舗地区解消数 3地区	①無店舗地区解消数 2地区	①無店舗地区解消数 0地区	①無店舗地区解消数 0地区
谷	年度	 野実績	①無店舗地区解消数 0地区 ②支援件数 5件 宴施地域、福部地域、 河原地域、気高地域、 鹿野地域、青谷地域、 島取地域(明治・湖南 ・神戸地区、若葉台・ 大和地区))				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	5,759	0	0	0	(
事	直接	経費 A	5,759	0	0	0	(
業	± +÷ 47	国·県	2,816	0	0	0	
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	
	源内訳	その他	0	0	0	0	
		一	2 043	0	0	0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

	J. 111.	ではスパチもことと表述した石刻の人と					_ , , ,			
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		【KPI】無店舗地区解消数	地区	目標	3	3	2	0	0	
	1			実績	0	0	0	0	0	
ュ		(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
活動				目標	0	0	0	0	0	
指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
1234				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	•	•	•					

			7K 133 T 7Q 49 F/K	7-1 4-7 C 7(11)	H 11 - HO 2 (1) 37	事務事業の事	不祝女 C 是 到 /	
l		【問合せ先】振興係	8 0857-20-3185					
		【10次総の施策体	·系】3202					
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目	l次:当初予算・P	953(地0	06)・6月	補正・P8(均	也003)	
	事務事業の実施概要	運営及び事業拡大を <補助金交付> ・移動販売車等導入 ・移動販売車運営支 (広域事業の場 (中山間集落見・ 小売業の場合・ ストックヤー	中山間地域の買い物困難地域において、移動販売車等による買い物支援の取組の起業・運営及び事業拡大を支援し、中山間地域住民の安全・安心な暮らしを確保する。 <補助金交付> ・移動販売車等導入支援 補助率8/10(広域事業の場合は10/10) 補助金上限800万円 ・移動販売車運営支援 補助率8/10~1/3 補助金上限200~80万円(3年間逓減)事業概要 (広域事業の場合 2年間延長 補助率1/6 補助金上限40万円) (中山間集落見守り活動協定を締結し、小規模高齢化集落等で移動販売を実施する 小売業の場合年次逓減措置を免除 補助率10/10 補助金上限200万円 ストックヤード運営経費を追加)					
		【事業の成果】 導入支援	· 運営支	7摇				
		H26 H27 H28 1件	5件(佐治、i 6件(佐治、i	河原~明治。 河原~明治。	湖南、福部、湖南、福部、福部、西部地	西部地域、若		
		【今後の課題・方向 少子高齢化の進行 る。移動販売等の必 を進めていく。また 継続のために支援し	同性】 所に伴い中山間地域 必要性・有効性等に 上、採算性の低い小	なにおける買こついて周知 こついて高かい現模高齢化	い物環境改善(・啓発を強化 集落等を対象。	の必要性は年々 し、買い物困難 とする移動販売	マ増大してい 推地域の解消	
- -	活動指標の達成率 【CHEC	<u></u>						
<u>U.</u>		られ <u>」 </u>	■ 平成28年度 ■ 3	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		a lice in						
指	【KPI】無店舗地区解消数 1			1777-1722				
標達								
標	2							
標達成率	2 3							
標達成率 7.	2	評価内容			平価の視点を踏	まえて記入)		
標達成率 7.	2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	□ 1. 計画を上回る	移動販売車の更新	評価理由 (訂 新·移動販売	車運営の継続	支援を行ったが	、新規エリアで	
標達成率 7. ***	1 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 1019 末時点でどのような進捗状況かを選 1029 末時点でどのような進捗状況かを選	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了		評価理由 (訂 新·移動販売	車運営の継続	支援を行ったが	、新規エリアで	
標達成率 7. ***********************************	1 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 [[[[[[[[[[[[[[[[[[[□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る	移動販売車の更新の開始に至らず無移動販売車の更新	評価理由 (記 新·移動販売 供店舗地区解 新·移動販売	車運営の継続3 消へは繋がらな 車運営の継続3	支援を行ったが なかった。 支援を行ったが	、新規エリアで	
標達成率 7. 事間に 指標	1 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績/タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 ください。 事業の成果	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了	移動販売車の更新の開始に至らず無 移動販売車の更新の開始に至らず無 る移動販売は、市	評価理由(記 新・移動販売 無店舗地区解 新・移動販売 無店舗地区解	車運営の継続式 消へは繋がらな 車運営の継続式 消へは繋がらな	支援を行ったが、 なかった。 支援を行ったが、 なかった。 大援を行ったが、 なかった。中山間	、新規エリアで 引地域におけ	
標達成率 7. 事間に 指標	1 2 3 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 集欄タブの入力結果を基に、年度の事業 から月末時点でどのような進捗状況かを選 (べださい。 事業の成果 19ブの入力結果を基に、年度末実績が目生成できたかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり	移動販売車の更新の開始に至らず無移動販売車の更新の開始に至らず無	評価理由(記 新・移動販売 無店舗地区解 新・移動販売 無店舗地区解	車運営の継続式 消へは繋がらな 車運営の継続式 消へは繋がらな	支援を行ったが、 なかった。 支援を行ったが、 なかった。 大援を行ったが、 なかった。中山間	、新規エリアで 引地域におけ	
標達成率 7. 事動に 指標を 様を は 標を は 標を は 標を は 標を は 標を は 無 の ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	1 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべさい。 事業の成果 「クブの入力結果を基に、年度末実績が目集成できたかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る□ 2. 計画どおり■ 3. 事業未完了□ □ 1. 目標を上回る□ 2. 目標どおり■ 3. 目標を下回る	移動販売車の更新の開始に至らず無 移動販売車の更新の開始に至らず無 る移動販売は、市	評価理由(記 新・移動販売 無店舗地区解 新・移動販売 無店舗地区解	車運営の継続式 消へは繋がらな 車運営の継続式 消へは繋がらな	支援を行ったが、 なかった。 支援を行ったが、 なかった。 大援を行ったが、 なかった。中山間	、新規エリアで 引地域におけ	
標達成率 7. 事動に 指標を 様を は 標を は 標を は 標を は 標を は 標を は 無 の ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	1 2 3 3 評価【CHECK】 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 から月末時点でどのような進捗状況かを選 (ください。 事業の成果 [[]タブの入力結果を基に、年度末実績が目達成できたかどうかを選択してください。 []	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	移動販売車の更新の開始に至らず無 移動販売車の更新の開始に至らず無 る移動販売は、市 求められる。	評価理由(記 新・移動販売解 新・移動地区解 新・移動地や収 はよ規模や収 拡充	車運営の継続式 消へは繋がらな 車運営の継続式 消へは繋がらな 益性に課題があ	支援を行ったがよかった。 支援を行ったがよかった。 支援を行ったがよかった。中山間のり安定した運営	、新規エリアで 間地域におけ ぎを図ることが	
標達成率 7. 事動に 指標を 様を は 標を は 標を は 標を は 標を は 標を は 無 の ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	1 2 3 評価【CHECK】 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 から月末時点でどのような進捗状況かを選 (ください。 事業の成果 [9プの入力結果を基に、年度末実績が目集成できたかどうかを選択してください。] 事業の成果を踏まえた今後(□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続	移動販売車の更新の開始に至らず無 移動販売車の更新の開始に至らず無 の開始に至らず無 る移動販売するでである。 1 1 1 意図的に 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	評価理由(記 新・移動地区解 新・移動地やや収 がよ は は は は は は は は は は は は は は は は は は	車運営の継続式 消へは繋がらな 車運営の継続式 消へは繋がらな 益性に課題があ ム性に課題がある ロ 4-1 意図 ロ 4-2 制度	支援を行ったがよかった。 支援を行ったがよかった。中山間の の方の安定した運営 図的に縮小 度的に自然減少	、新規エリアで 間地域におけ 営を図ることが	
標達成率 7. 事動に 指標を 様を は 標を は 標を は 標を は 標を は 標を は 無 の ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	1 2 3 評価【CHECK】 評価 【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績/タブの入力結果を基に、年度の事業 の対果 の成果 「クブの入力結果を基に、年度の事業の成果 「タブの入力結果を基に、年度未実績が目 産成できたかどうかを選択してください。」 「「「「「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画とおり ■ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標をおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. は充 □ 2. 改善継続 ■ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	移動販売車の更新の開始に至らず無 移動販売車の更新の開始に売至らず無 る移動販売車のです。 る移動販売車のです。 では、市 求められる。	評価理由(記 新・移舗地区解 新・移舗地域 新・移舗構模 ・ を増加 を を は を を は を は を は た は た は た は た は た は	車運営の継続式 消へは繋がらな 車運営の継続式 消へは繋がらな 益性に課題があ 益性に課題があ ロ 4-1 意図 ロ 5-1 臨4 ロ 5-2 意図	支援を行ったが はかった。 支援を行ったが 支援を行ったが はかった。 とがなかったが にかり安定した 図的に自然減少 軍実施等、 図的に廃止	、新規エリアで 間地域におけ 営を図ることが	
標達成率 7. 事画に 指標 8.	1 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 ください。 事業の成果 「タブの入力結果を基に、年度な事業 の成果 「タブの入力結果を基に、年度大実績が目量成できたかどうかを選択してください。」 事業の成果を踏まえた今後 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画がおり ■ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標がおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. は充 □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 ■ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	移動販売車のず無 移動販売至らず無 移動販売至至さは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででいる。	評価理動域 新・移舗 動地 動地 動地 動地や 動地や 動地や 動地や が・ が・ が・ が・ が・ が・ が・ が・ が・ が・	車運営の継続式 消へは繋がらな 車運営の継続式 消へは繋がらな 立性に課題がある 益性に課題がある 立ちしまする。 ロ 4-1 意図 ロ 4-2 制度 ロ 5-1 臨4 ロ 5-2 意図 ロ 5-3 制度	支援を行ったが はがった。 支援を行ったが をがったが はかったの中 ではいか安定したが にに自然が では自然が では、 のいには では、 のいには では、 のいには のいには のいには のいに、 のい	、新規エリアで 閉地域におけ ぎを図ることが ・ ・ 的に休止	

 事務事業コード
 021700
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 中山間地域・地域資源活用型コミュニティビジネス支援事業
 所属名
 企画推進部地域振興局
 地域振興課

1	其	木	恄	報

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成24年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	鳥取市中山間地域対策強化方
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の振興			依拠法市、 根拠計画等	針、鳥取県みんなで取り組む中 山間地域振興条例
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	FIRE WINCE VIOLE
目盤	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	その他
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
٥٫	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予笪	予算 予算事業名 中山間地域・地域資源活用型コミュニテ				爰事業費	予算事業コード	01-02-01-07-32-24

2. 事業目的	[PLAN]
対象(何を、誰を)	鳥取市の中山間地域
意図 (どのような状態 にするために)	中山間地域に不足しているサービスを確保し安全安心な生活の確保と賑わいづくりを図る。
手段 (どうするのか)	農産物を活用した農家レストランなど、中山間地域の地域資源を活用したビジネスの起業・拡大を支援する。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①取組団体 2件	①取組団体 2件	①取組団体 2件	①取組団体 2件	①取組団体 2件
谷	年度	E別実績	①取組団体 2件 ・飲食施設整備(国府) ・介入工房ぐらら ・食肉加工施設(河原) ・北村部落				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	3,807	0	0	0	0
事	直接	経費 A	3,807	0	0	0	0
業	古拉织	国•県	2,538	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,269	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		取組団体数	団体	目標	2	2	2	2	2		
	1		四种	実績	2	0	0	0	0		
,т		(指標の説明) 事業を活用した取組団体数									
活動				目標	0	0	0	0	0		
判指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
12/4				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5	. 平	² 成28年度の事務事業実力			取り組みを具体	的に記入(予算	「事務事業の事	業概要と連動)
			【問合せ先】振興係	0857-20-3185				
			【10次総の施策体	系】3202				
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P54 (地0	07)		
			【事業の概要】 地域資源を生かし 団体等の起業や事業 <補助金交付>	拡大を支援し、	活力と賑わい 助金上限4,500	のある中山間: 千円	地域づくりを推	
		事務事業の実施概要		ジビエ工房弥 手づくり梨工 シシボタンの アイス工房く 北村部落食肉	房加工所整備(会冷蔵設備整値 らら飲食施設	(佐治) 備(鹿野) 整備 (国府)		
			【今後の課題・方向 中山間地域強化対 支援する。		ၨ携し、地域の	連携強化や所行	得向上へつなか	ぶる取組みを
	_							
-								
6	. 注	5動指標の達成率【CHE		「元十00年度」	一十00年度	一五十00左座	· 포수어 左帝	
-	一	取組団体数	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標				100%				
适成	[1 1 1	2						
琗	. I	3						
7	. 評	F価【CHECK】						
		評価項目と評価の視点	評価内容			平価の視点を踏		
	_	年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	地域資源を活月	月した2団体の耳	文組を支援した。	>	
計	画が3	續]タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選 ださい。	□ 3. 事業未完了					
<i>u</i> -	<u>, C</u>	事業の成果	□ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり				の整備を支援し ニティ再生など	
		プの入力結果を基に、年度末実績が目	□ 3. 目標を下回る	期待される。	/ C 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 1	N-L/O	/ 111	180
<u></u>	_			<u>1</u>				
8	. 事	事業の成果を踏まえた今後 		74 辛丽的	! - + 		30 451-40 小	
] 1-1 意図的] 1-2 制度的		□ 4-1 意 □ 4-2 制	図的に縮小 <mark>度的に自然減少</mark>	>
		今後の方向性		12-1 手段等			年実施等、意図	的に休止
] 2-2 効率化] 2-3 他事業		□ 5-2 意図 □ 5-3 制度 □ 5-3 NB □		
	tR		地域資源を活用した地域力の向上の取	対組を支援しており、ヒ	ごジネス手法を用いた	た取組は地域循環を創		舌性化の手段であ
Ι.,		! ヨ 誄 女 の 評 1111 コメント 後の方向性」を判断した理由が	る。住民団体等への周知・啓発、支援	技体制の光表に劣めなり	46、引さ続さ推進!	していく。		

事務事業コード 021800 重点施策 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 新市域振興推進事業 所属名 企画推進部地域振興局 地域振興課

1. 基本情報

	L.ILI IN						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期	
	政策	02	交流の拠点となるまち・	づくり	根拠法令、		
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興	根拠法市、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目 無策	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民に	まちとむらの住民による交流の件数			30件	運営方法	外部委託
0,	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算 予算事業名 新市域振興推進事業費					予算事業コード	01-02-01-07-32-30

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	新市域
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市の知名度やイメージアップを図り、新たな交流人口の獲得と移住定住を促進する。
手段 (どうするのか)	自転車を活かした周遊観光や山の資源を活用したエコツーリズムの促進を図る。

<u>3.</u>	事業の:	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の耳	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①自転車を活用した周 遊観光の促進 ②山の資源を活用した エコツーリズムの促進	①自転車を活用した周 遊観光の促進 ②山の資源を活用した エコツーリズムの促進	民間移行	民間移行	民間移行
т т	年度	E別 実績	①自転車を活用した周 遊観光の促進・・・イ ベント4回開催、講習 会2回開催、サイクリ ングマップ作製 ②山の資源を活用した エコツーリズムの促進 ・・・アウトドアクッ キングイベント1回(2日間)開催				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	653	0	0	0	0
事	直接	経費 A	653	0	0	0	0
業	± ++ 47	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	653	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】 指標名 単位 区分 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 市外参加者人数 目標 40 50 実績 39 0 0 0 (指標の説明) 市外居住者がイベントに参加した人数 活動指標 目標 0 0 0 0 実績 0 (指標の説明) 目標 0 0 0 実績 0 0 3 (指標の説明)

Ę	j. <u>s</u>	平成	28年度の事務事業実	施概要					り組みを具体	的に記入(予算事務事業	業の事業	業概要と連動)
							0857-20-31	34					
					【10次総の	の施策体を	系】3202						
					【予算計上(予算事業)		次:当初予算	[•]	P 5 5 (地 0	09)			
	事務事業の実施概要			Ī	【事業の概要】 <自転車を活用した周遊観光の促進> 鳥取市東部エリア(福部・国府地域)と岩美町の連携により、鳥取砂丘や浦富海岸などのジオスポット等を巡る自転車を活用した周遊観光の取り組みを進め、市外者の地域内への誘客を図る。 <山の資源を活用したエコツーリズムの促進> 鳥取市南部エリア(河原・用瀬・佐治地域)と智頭町との連携により、河原地域のスカイスポーツ、用瀬地域から智頭町の山岳トレイル、佐治地域の山王谷エリアの自然体験、智頭町の森林セラピーなど多様な体験メニューをまとめて都市部へ発信し、エコツーリズム愛好家等の誘客を図る。								
					【事業の成果】 ○自転車を活用した周遊観光の促進…とっとりサイクルツーリズムの会(TCT)を設立し、各種イベントを開催した。年4回開催(H27,28)、講習会2回開催(H28)、サイクリングマップ2,000枚作製 ○山の資源を活用したエコツーリズムの促進…体験メニューパンフレット(2,000枚)を作成し関西圏を中心に情報発信、アウトドアクッキングイベント1回(2日間)開催								
	【今後の課題・方向性】 TCTが中心となり全国的自転車イベントの開催経験を活かした活動を行い、TCT事業の活化を図る必要がある。また、山の資源を活用したエコツーリズムでは、市外参加者をよ多く獲得するために、広報手段を変更・工夫する必要がある。これらにより、鳥取市のらなる知名度向上やイメージアップをはかり、都市部からの誘客につなげていきたい。						加者をより 鳥取市のさ						
6	s. ;	舌動	指標の達成率 【CHE	ECK]									
				指標名	1		平成28年周	Ę	平成29年度	平成30年	度 平成31	年度	平成32年度
1	¤ [1	川外 参加 有 八 奴				9	3%					
j		2											
	戊 枢	3											
L													
			i【CHECK】 項目と評価の視点		評価内容				評価理由(評	平価の視点を	- 踏まえて記	入)	
			度計画の進捗度		計画を上回る	5						,	
ā	画が	3月末	ブの入力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況かを選	□ 3.	計画どおり 事業未完了								
护	して	ください	_{`。} 事業の成果		目標を上回る 目標どおり	5							
			入力結果を基に、年度末実績が目 たかどうかを選択してください。		目標を下回る	5							
9]	直坐	の成果を踏まえた今後	<u></u> ይወቱי	う性 【4070	INC							
۲	,. -	4 禾	シルス木と四 みんにつ 18	□ 1.	拡充		1-1 意図				意図的に縮		
			今後の方向性	□ 3.	改善継続 現状維持 縮小	•	1-2 制度 2-1 手段 2-2 効率	等σ.)改善	□ 5−1	制度的に自 臨年実施等 意図的に廃	、意図	
				□ 5.	休止、廃止、	終了口	2-3 他事	業と	:の統合	□ 5-3	制度的に終	了	de area Lau b
1	「今 わか	後の	課長の評価コメント ・方向性」を判断した理由が う、数値等を用いた具体的 ・今後の改善プランを記載)	動範囲を 開催経験 者をより	と広げることとして 食を活かした活動を	「いる。当該E ∵行い、TC↑ ○に、広報手具	団体が中心となっ Γ事業の活性化を 设を変更・工夫す	て、st 図る#	全国的自転車イベン 必要がある。また、	ントの 山の資源を活月	月したエコツー!	リズムでに	。鳥取市域全域に活 は、市外からの参加 ・メージアップをは

 事務事業コート
 021900
 重点施策
 まちづくり
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 中山間地域・地域遊休施設活用支援事業
 所属名
 企画推進部地域振興局
 地域振興課

	ţ	_	ī	4	
1	Ŧ	\rightarrow	庄	푔	3

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	ı		事業期間	平成26年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまち・	づくり	根拠法令、	鳥取市中山間地域対策強化方	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興	依拠法市、 根拠計画等	針、鳥取県みんなで支え合う中 山間地域振興条例	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	FI PI ZEL SA IMOS CAN DI
目盤	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目焼まる	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
٥٦	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 中山	□間地域•均	地域游休施設活用支援	事業費		予算事業コード	01-02-01-07-32-31

2. 事業目的	LAN]	
対象 (何を、誰を)	取市の中山間地域	
意図 (どのような状態 にするために)	休施設(空き店舗等)を活用した中山間地域の総合的な地域活性化を図る。	
手段 (どうするのか)	休施設(空き店舗等)を活用した中山間地域の地域資源を活用したビジネスの起業・拡大を支援	憂する。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	5別計画	①取組件数(H28~累 計)2件	①取組件数(H28~累 計)3件	①取組件数(H28~累 計)4件	①取組件数 (H28~累 計) 5件	①取組件数(H28~累 計)6件
	年度	E別実績	①取組件数(H28~累計)1件				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	14,450	0	0	0	0
事	直接	経費 A	14,450	0	0	0	0
業	古拉奴	国・県	8,670	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,780	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		【KPI】取組件数	仕	目標	2	3	4	5	6		
	1		1	実績	1	0	0	0	0		
,_		(指標の説明) 事業活用した取組団体数。基準値は平成26年度実績。									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
1234				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)			_		_				

,	5. 平成28年度の事務事業実施	, 似安【DU】	※則年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	「事務事業の事	業概要と連動)		
ſ		【問合せ先】振興係	8 0857-20-3185						
		【10次総の施策体	5系】3202						
		【予算計上の経過】 予算事業別概要:	当初予算P55	5 (地010)					
		する取組をハード・ <補助金交付>	中山間地域における遊休施設(空き店舗等)を、新たな活性化拠点として活用しようと する取組をハード・ソフト両面から総合的に支援する。						
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成26年度 2件 平成28年度 1件			・日用品販売旅	运 設)			
			夏・方向性】 或で増えつつある空き店舗や空き倉庫を有効活用した地域活性化の取組を引き 魅力ある地域づくりと賑わい創出を図る。						
_									
6	6. 活動指標の達成率 【CHEC	K]							
È			立は20年度	立は20年度	亚战20年度	亚式21年度	亚式20年度		
F	指。 【KPI】取組件数	標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
:	指 (KPI)取組件数 指 1 標		平成28年度 50%	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
11.7	指 [KPI]取組件数 指 標 達 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
3	指 (KPI)取組件数 指 1 標			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
	指 指標達 2 成率 3			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
	指 1 【KPI】取組件数 指 標 達 2				平成30年度		平成32年度		
	指 指標達 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 5 5 6 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7	評価内容 □ 1. 計画を上回る	50%	評価理由(記 対し1件の実施	平価 の 視点を踏 ごであったが、コ	まえて記入) ミュニティレスト	ラン(湖南地		
	指標 2	評価内容 評価内容 〕 1. 計画を上回る 〕 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了	50%	評価理由(記 対し1件の実施	平価 の 視点を踏 ごであったが、コ	まえて記入)	ラン(湖南地		
	指標達 2	評価内容 評価内容 〕 1. 計画を上回る 〕 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了	年度目標2件に 区)整備を支援 事業実施にはは	評価理由(記 に対し1件の実施 し地域住民の領 地域連携と自主	平価の視点を踏 であったが、コ 集いの場として注	まえて記入) ミュニティレストラ 舌性化に寄与し 必要である。中!	ラン(湖南地 ている。		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指標 2	評価内容 評価内容 コ 1. 計画を上回る コ 2. 計画どおり 3. 事業未完了 コ 1. 目標を上回る コ 2. 目標どおり	50% 年度目標2件に 区)整備を支援	評価理由(記 に対し1件の実施 し地域住民の領 地域連携と自主	平価の視点を踏 であったが、コ 集いの場として注	まえて記入) ミュニティレストラ 舌性化に寄与し 必要である。中!	ラン(湖南地 ている。		
	指標 2	評価内容 評価内容 1.計画を上回る 2.計画どおり 3.事業未完了 1.目標を上回る 2.目標どおり 3.目標を下回る	年度目標2件に 区)整備を支援 事業実施にはは	評価理由(記 に対し1件の実施 し地域住民の領 地域連携と自主	平価の視点を踏 であったが、コ 集いの場として注	まえて記入) ミュニティレストラ 舌性化に寄与し 必要である。中!	ラン(湖南地 ている。		
におり、「「「「「「」」」	指標達 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	i標名 評価内容 1.計画を上回る 2.計画どおり 3.事業未完了 1.目標を上回る 2.目標どおり 3.目標を下回る 3.目標を下回る	年度目標2件に 区)整備を支援 事業実施にはは	評価理由(記 に対し1件の実施 し地域住民の領 地域連携と自主	平価の視点を踏 であったが、コ 集いの場として注	まえて記入) ミュニティレストラ 舌性化に寄与し 必要である。中!	ラン(湖南地 ている。		
におり、「「「「「「」」」	指標達 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	評価内容 1.計画を上回る 2.計画どおり 3.事業未完了 1.目標を上回る 2.目標どおり 3.目標を下回る 3.目標を下回る	年度目標2件に 区)整備を支援 事業実施にはは	評価理由(記 対し1件の実施 し地域住民の幼 地域連携と自主 丸組が実施され	平価の視点を踏 であったが、コ 集いの場として注 まないの場として注 はないのででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	まえて記入) ミュニティレストラ 舌性化に寄与し 必要である。中ロ 続する。	ラン(湖南地 ている。 山間地域強化		
におり、「「「「「「」」」	指標達成率 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選 RLてください。 事業の成果 指標/タブの入力結果を基に、年度未実績が目 標を達成できたかどうかを選択してください。 □ 3. 事業の成果を踏まえた今後の □	評価内容 コ1.計画を上回る コ2.計画どおり 3.事業未完了 コ1.目標を上回る コ2.目標をよのる コ3.目標を下回る コ1.目標を下回る コ1.は充 □ 1.拡充 □ 1.拡充	年度目標2件に区)整備を支援 事業実施には対策に有効なE	評価理由(記式対し1件の実施とし地域連携と自主 地域連携と自主 を対しが実施され に拡充 に拡充 に自然増加	平価の視点を踏 であったが、コ 集いの場として注 まいの場として注 はないのででは、 であったが、コ まいの場として注 はないのではない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。	まえて記入) ミュニティレストラ 舌性化に寄与し 必要である。中口 続する。	ラン(湖南地ている。		
におり、「「「「「「」」」	指標達成率 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績プラブの入力結果を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 指標プタブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。 3. 事業の成果を踏まえた今後の 今後の方向性	標名 評価内容 1.計画を上回る 2. 計画をおり 3.事業未完了 1.目標を上回る 2.目標をより 3.目標を下回る 1.は要素を下回る 1.は要素を下回る 2.は要素を下回る 3.は要素を下回る 3.は要素を下回る 3.は要素を下回る 3.は要素を下回る 3.は要素を下回る 3.は要素を下回る 3.は要素を下回る 3.は要素を下回る 3.は要素を下回る 4.は要素を下回る 5.は要素を下回る 6.は要素を下回る 6.は要素を下回る 7.は要素を下回る 6.は要素を下回る 7.は要素を下回る 7.は要素を下回る 8.は要素を下回る 8.は要素を下回る 9.は要素を下回る 9.は要素を下回る 9.は要素を下回る 1.は要素を下回る 1.は要素を下面を表を下面を表を下面を表を下面を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	年度目標2件に区)整備を支援 事業実施には対策に有効なE	評価理由(記式対し1件の実施と)地域連携と自主 和地域連携と自主 和地域連携と自主 を対しが実施され に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 であったが、コ 集いの場として注 まいの場として注 はないのででは、 であったが、コ まいの場として注 はないのではない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。	まえて記入)ミュニティレストラインストラインを表生化にある。中国のは、本語である。中国のは、本語である。中国のは、本語では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ラン(湖南地ている。		
におり、「「「「「「」」」	指標達 2	i標名 評価内容	年度目標2件に区)整備を支援 事業実施には対対策に有効な国 1-1 意図的 1-2 制度的 1-2 制度的 2-1 列率化 2-2 効事代 2-3 他事業	評価理由(記式対し1件の実施と) は域連携と自主れ が で が で が で が で が で が で が で が で が で が	平価の視点を踏 であったが、て まいの場として 財源の確保が、 るよう支援を継 ロ 4-1 意[ロ 4-2 制] ロ 5-1 臨- ロ 5-2 意[ロ 5-3 制]	まえて記入)ミュニティンストラインストラインストラインを表生である。中国の的ににいる。中国ののにには、小然意図ののにに終えている。中国ののに終えている。	ラン(湖南地 ている。 山間地域強化 めに休止		

 事務事業コード
 022001
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域おこし協力隊事業費(地域振興監)
 所属名
 企画推進部地域振興局
 地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	小手	잸	

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づ総合計画	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成27年度 ~ 平成29年度
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興	根拠法市、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山四寸	
目施	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	直営
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 地地	或おこし協っ	り り 隊事業費(地域振興局	引地域振興課)		予算事業コード	01-02-01-07-37-37

 2. 事業目的【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 都市地域の住民

 意図 (どのような状態 にするために)
 地域への定住・定着を図りつつ、移住者等の拡大を図る。

 手段 (どうするのか)
 新市域の複数地域と隣接自治体の地域資源を活かした周遊観光やエコツーリズムによる地域活性化を支援するため、地域おこし協力隊員として受け入れる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3.	争業の:	牛度別計画	・美稹【PLAN・DO】			※年度別の』	取り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	麦別計画	地域おこし協力隊の配置(2名) ①自転車を活用した周遊観光の促進[取組地域:鳥取市東部エリアと岩美町] ②山の資源を活用したエコツーリズムの促進 [取組地域:鳥取市南部]	地域おこし協力隊の配置(2名) ①自転車を活用した周遊観光の促進取組地域:鳥取市東部エリアと岩美町] ②山の資源を活用したエコツーリズムの促進 [取組地域:鳥取市南部]	地域おこし協力隊の配置(2名) ①自転車を活用した周遊観光の促進[取組地域:鳥取市東部エリアと岩美町] ②山の資源を活用したエコツーリズムの促進[取組地域:鳥取市南部]		
甘	年度	 医別実績	○隊員の公用車・パソコン・宿舎の手配 ○先進地視察(美作市 、西粟倉村の地域おこ し協力隊員卒業生の取組み事例)、研修(山 岳植生、ロープワーク 技術と安全確保) ○鳥取市南部エリアの 魅惑の体験プランPR				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業	費(A+B)	6,514	0	0	0	0
事	直接経費 A		6,514	0	0	0	0
業	古拉尔	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,514	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		地域おこし協力隊隊員配置数	人数	目標	2	2	0	0	0		
	1		八剱	実績	2	0	0	0	0		
·-		(指標の説明)									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動 指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
los.				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)	·	·			_		_		

5		成28年度の事務事業実施		△前午皮の	以り他のと共体	ロリーロンへ、アチ	事務事業の事	未恢安[注到]			
			【問合せ先】振興係	0857-20-3184							
			【10次総の施策体	系】3202							
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P56 (地0	12)					
			①自転車を活用した 「取組地域:鳥町 ②山の資源を活用し	【事業の概要】 地域おこし協力隊の配置(2名) ①自転車を活用した周遊観光の促進 [取組地域:鳥取市と岩美町] ②山の資源を活用したエコツーリズムの促進 [取組地域:鳥取市南部エリア(河原・用瀬・佐治地域)と智頭町]							
事務事業の実施概要			○隊員の公用車・パ ○先進地視察(和歌 の地域おこし協力隊 座、自然ガイド資格	【事業の成果】 地域おこし協力隊の配置(2名) ○隊員の公用車・パソコン・宿舎の手配 ○先進地視察(和歌山県白浜町農山漁村体験誘致、岡山県立森林公園、美作市、西栗倉村の地域おこし協力隊員卒業生の取組み事例)、研修(シャワークライミングガイド養成講座、自然ガイド資格取得認定、山岳植生、ロープワーク技術と安全確保) ○鳥取市南部エリアの魅惑の体験プランPR							
			【今後の課題・方向 地域おこし協力隊と 組んでいる。今後は いく。	地域や各種団体							
	: 11.1	はお あいまける 【のいこ	ov.								
6	. /白里	助指標の達成率 【CHE 】	CK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
才	旨 1	ļ			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
非相 追 厅	1	ļ			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
非相 追 厅	旨 1	ļ			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
打村 道 万 至	旨票 2	財地域おこし協力隊隊員配置数	指標名					平成32年度			
打村 道 万 至	旨票 2	財 地域おこし協力隊隊員配置数	指標名 評価内容			平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度			
打村 过 万 至	指票 2 2 3 · 評价	財 地域おこし協力隊隊員配置数 Tage CHECK J Tage と評価の視点 E m 計画の准挑度	指標名					平成32年度			
打 材 道 万 翠 フ	旨票 全 文字 3 上 評価 字集績	地域おこし協力隊隊員配置数 「Multiple Company Com	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る					平成32年度			
打 材 道 万 翠 フ	旨票を 1 2 3 平何 年 実動が3月	地域おこし協力隊隊員配置数 「Manager Manager Mana	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る					平成32年度			
	旨票を 文 名 3 評価 日 年 東 頼 が 3 月 だ 3 非標 タブグ	地域おこし協力隊隊員配置数 「世域おこし協力隊隊員配置数 「国民」 「国国と評価の視点 「度計画の進捗度 「タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「中間では、「中では、「中間では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標をより □ 3. 目標をのる					平成32年度			
	旨票を 文 名 3 評価 日 年 東 頼 が 3 月 だ 3 非標 タブグ	地域おこし協力隊隊員配置数 「世域おこし協力隊隊員配置数 「国民」 「国国と評価の視点 「度計画の進捗度 「タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「中間では、「中では、「中間では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり					平成32年度			
おお 遺 万 図 フ 『計訳』 『指標』	旨票 主 戈 区 : 平平 石 (地域おこし協力隊隊員配置数 地域おこし協力隊隊員配置数 「CHECK」 「可目と評価の視点 「度計画の進捗度 「タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標をよのる □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る	100%	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	平成32年度			
	旨票 主 戈 区 : 平平 石 (地域おこし協力隊隊員配置数 地域おこし協力隊隊員配置数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	100%	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)				
	旨票 主 戈 区 : 平平 石 (地域おこし協力隊隊員配置数 地域おこし協力隊隊員配置数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。 「またかどうかを選択してください。」 「またかどうかを選択してください。」 「なりまする。	指標名 評価内容	100% 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	評価理由(記 証 が に は に は の 改善	平価の視点を踏 □ 4-1 意[□ 4-2 制] □ 5-1 臨	図的に縮小 変的に自然減少 年実施等、意図	>			
	旨票 主 戈 区 : 平平 石 (地域おこし協力隊隊員配置数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。 「またかどうかを選択してください。」 「本の成果を踏まえた今後 今後の方向性	指標名 評価内容	100% 1-1 意図的 1-2 制度的	に拡充 (に放発増加 ので でで ので でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	平価の視点を踏 コ 4-1 意[ロ 4-2 制]	図的に縮小、 を実施の 図的に のの で のの の の の の の の の の の の の の の の の	>			
おおっぱ オ お お お お は は は は は は	1 2 3 評評 名 編書 事 担 担 担 担 担 に は お ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	地域おこし協力隊隊員配置数 「世域おこし協力隊隊員配置数 「国事と評価の視点 「実計画の進捗度 「おいっとのような進捗状況かを選集時点でどのような進捗状況かを選集したとうかを選択してください。」 「おいっとうかを選択してください。」 「おいっとうかとうかを選択してください。」 「おいっとうかとうかとうかとうかとうかとうかとうかというない。」 「おいっとうかとうかというない。」 「おいっとうかというないますない。」 「おいっとうないますないますない。」 「おいっとうないますないますないますないますないますないますないますないますないますないます	指標名 評価内容	100% 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段率化 2-2 効率事代 2-3 他事業 との連携により、地域	に拡射を 証の に拡射を で に で の で の の の の の の の の の の と の の の の の の の の の の が と の の に と の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に る に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	平価の視点を踏 四 4-1 意[日 4-2 制] 日 5-1 臨 日 5-2 意[日 5-3 制]	変数では、 変数でし、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を	かに休止			

 事務事業コード
 022002
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域おこし協力隊事業費(国府町)
 所属名
 国府町総合支所
 国府町総合支所
 国府町総合支所地域振興課

					-
1	-	Ħ-	•	心王	#6

	- 113 1 IV						
位総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成27年度 ~ 平成30年度
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
17 O	作 の 施策 3202 魅 力ある中山間地域の振興					依拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目無無	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	直営
٥٦	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予質	予算 予算事業名 地域おご 協力隊事業費(国府町地域振興課)					予算事業コード	01-02-01-07-37-34

2. 事業目的【PLAN】

2. 争未日的	(FLAN)
対象 (何を、誰を)	地域おこし協力隊員。市民他。
意図 (どのような状態 にするために)	都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、地域おこしの支援や地域活動、地域活性化に協力してもらいながら、国府地域への定住・定着を図り、大茅・成器地区の地域力の維持・強化を積極的に推進していく。
手段 (どうするのか)	殿ダム・雨滝等の地域資源を活かした地域活性化の取り組みや、農村の特色を生かしたグリーツーリズムの企画 実施、空き家調査などの移住定住支援を行いながら、国府地域への定住・定着を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	争表の:	<u> 平伐別計画</u>	「美韻 【PLAN・DO】			※ 年度別の	<u>収り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①地域資源を活かした 地域活性化の取り組み や、グリーツーリズム の企画実施、空き家調 査などの移住定住支援	①地域資源を活かした 地域活性化の取り組み や、グリーツーリズム の企画実施、空き家調 査などの移住定住支援 などの隊員の活動に対 する必要な支援を行う 。	①地域資源を活かした 地域活性化の取り組み や、グリーツーリズム の企画実施、空き家調 査などの移住定住支援 などの隊員の活動に対 する必要な支援を行う 。(10月末まで)		
谷	年度	E別実績	①隊員活動への支援 ・集客座談会 ・空き家調査 ・グリーツーリズムや 地域活性化イベントの 企画策定 ・その他地域イベント、活動協力				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	6,332	0	0	0	0
事	直接	経費 A	6,332	0	0	0	0
業	±+±.47	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,332	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		地域おこし協力隊員数	Į.	目標	2	2	2	0	0		
	1		八	実績	2	0	0	0	0		
\-		指標の説明)									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動 指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
IN				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)		•							

	平成28年度の事務事業実施	心地女【ロロ】	※ 削牛度の	取り紐みを具体	が川〜記入(ア昇	「事務事業の事	耒慨安と 建期)			
		【問合せ先】国府町	叮総合支所 地域	成振興課 0857	'-39-0555					
		【10次総の施策体	本系】3202							
		【予算計上の経過】 予算事業別概要	要目次:当初予算	算・P270(3	支所001)					
		域活動、地域の活性	【事業の概要】 都市住民は受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、地域おこし活動の支援や、地域活動、地域の活性化に協力してもらいながら、国府地域への定住、定着を図り、大茅・成器地区の地域力の維持・強化に取り組む。							
	事務事業の実施概要	・事業期間 平原 [取組み事業] ・地域資源・課題	・地域おこし協力隊事業(平成27年11月から2人配置) ・事業期間 平成27年11月~平成30年10月(3年間) [取組み事業] ・地域資源・課題の掘起し ・グリーンツーリズムの企画・事業化							
		・移住定住支援は	・移住定住支援に伴う空き家調査、お試しハウス整備に向けた取組み ・地域イベント等の協力							
		人口減少や少子高 外の人材を積極的	【今後の課題・方向性】 人口減少や少子高齢化の進行が著しいが、鳥取市国府町大茅・成器地区において、地域 外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図ることは、都市住民のニーズに応えながら、 地域力の維持、強化に資する取り組みであり、積極的な推進を図る必要がある。							
		_								
6.	活動指標の達成率【CHE	:CK】 指標名								
				一立氏の矢座	1 では20年度	一 正式の1 年 帝	立 ぱっっ 年 由			
1	地域おこし協力隊員数	旧标位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
指標	地域おこし協力隊員数 1	佰保伯	100%	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
標達成	1 地域おこし協力隊員数 2	百保力		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
標達	1 地域おこし協力隊員数 2	百保力		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
標達成率	1 地域おこし協力隊員数 2 3	百保力		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
標達成率 7.	1 地域おこし協力隊員数 2	評価内容			平成30年度		平成32年度			
標達成率 7.	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価 【CHECK】	評価内容 口 1. 計画を上回る					平成32年度			
標達成率 7. ****	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績りずの入力結果を基に、年度の事業 が5月末時点でどのような進捗状況かを選	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了					平成32年度			
標達成率 7. ****	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る					平成32年度			
標達成率 7. 事間に指標	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が8月末時点でどのような進捗状況かを選 くください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標とより □ 3. 目標を下回る					平成32年度			
標達成率 7. 事調には 標標を 1 情報を	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 10 タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標をより □ 3. 目標を下回る					平成32年度			
標達成率 7. 事調には 標標を 1 情報を	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績別グの入力結果を基に、年度の事業が3月末時点でどのような進捗状況かを選 (ください。 事業の成果	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る	100%	評価理由(訂	平価の視点を踏	まえて記入)	平成32年度			
標達成率 7. 事調には 標標を 1 情報を	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くください。 事業の成果 記タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標がおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続	□ 1-1 意図的□ 1-2 制度的	評価理由(言	平価の視点を踏 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制	まえて記入)	>			
標達成率 7. 事調には 標標を 1 情報を	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 10 タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. は恋 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 ■ 3. 現状維持	□ 1-1 意図的	評価理由(記 証拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制	まえて記入) 要的に縮小 で実施等、意図	>			
標達成率 7. 事調には 標標を 1 情報を	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績別タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 別タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標ど下回る ■ 2. 目標が下回る □ 3. 目標をおり [□ 3. 目標を下回る] □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 □ 2. 改善機続 ■ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了	100% 1-1 意図的 1-2 制度 1-2 勃度等 2-1 手段率化 2-2 効事半	に拡充 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平価の視点を踏 日 4-1 意 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意 日 5-3 制加	まえて記入) 図的に縮自然減少 に自然意に を 変的に終了	かに休止			
標達成率 7. 事画して 指標を 8. (わわ	1 地域おこし協力隊員数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くください。 事業の成果 別タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. は悪様を下回る □ 1. 拡き継続 ■ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	100% 100% 1 1 一 1 意図的 1 1 一 2 制度段 1 2 一 1 対象 1 2 一 2 対象 1 2 一 2 対象 1 2 ー 3 世界率 1 2 ー 3 世界 1 2 ー 4 世界 1 2 ー 4 世界 1 2 ー 5 世界	に拡充 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平価の視点を踏 日 4-1 意 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意 日 5-3 制加	まえて記入) 図的に縮自然減少 に自然意に を 変的に終了	かに休止			

 事務事業コート
 022003
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域おこし協力隊事業費(佐治町)
 所属名
 佐治町総合支所
 佐治町総合支所
 佐治町総合支所

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	小手	잸	

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	也域に活気があるまち			事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の振興			依拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目焼焼	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	直営
•,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地域おごし協力隊事業費(佐治町地域			成振興課)		予算事業コード	01-02-01-07-37-31

 2. 事業目的【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 地域おこし協力隊員、市民等

 意図 (どのような状態にするために)
 都市住民の定住・定着を図り、地域力の維持・強化を推進する。

 手段 (どうするのか)
 都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員に委嘱し、耕作放棄地の再生・利活用、農産物や加工品の販売、移動販売・買い物支援活動、五しの地域資源の利活用等の地域活動を通じ佐治地域への定住・定着を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	1.2/4.2	1 /2///11111	· 夫禛【PLAN·DO】	亚宁尔左连	亚宁00左库		双が組みを自然に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①地域おこし隊員の定 住・定着を図る取り組 みについて必要な支援 を行う。	-		-	
台	年度	E別実 績	①地域おこし隊員の定 住・定着を図るとりく みについて必要な支援 を行った。				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	11,696	0	0	0	0
事	直接	経費 A	11,696	0	0	0	0
業	±±±47	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	11,696	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		地域おこし協力隊員数	Į.	目標	4	0	0	0	0
	1		八	実績	4	0	0	0	0
ı		(指標の説明) 地域に定住・定着を図	る取り組		いての必要な支	泛援			
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
""				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

Э.	7 19	ネ28年度の事務事業実施		※前年度の	100 Aug 11 C 2 4 1 1			11111121 - 12111					
			【問合せ先】佐治町	総合支所 地域	振興課 0858-8	8-0211							
			【10次総の施策体	系】3202									
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P280(支	021)							
			棄地の再生・利活用 五つの地域資源の利	【事業の概要】 都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農地の耕作放棄地の再生・利活用推進支援、農産物や加工品の販売促進・移動販売・買い物支援活動、 五つの地域資源の利活用促進活動等の地域協力活動に従事してもらいながら、佐治地域へ の定住・定着を図る取組についての必要な支援を行った。									
	Ę	事務事業の実施概要	【事業の成果】 ・地域おこし協力 H26年度実績 10, H27年度実績 11, H28年度実績 11,	633千円 198千円	8 6年度より 4	人雇用)							
			【今後の課題・方向 協力隊員の任期終	· -	後は、定住支	援を強化してい	ハく必要がある	,) ₀					
6.	活動	b指標の達成率 【CHEC	CK]										
		指	標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
指	1	地域おこし協力隊員数		100%									
標達	2												
成 率	3												
<u> </u>	=च /⊐	F TOUTOK!											
<u> </u>		「【CHECK】 「項目と評価の視点	評価内容		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)						
	年		コ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり										
計画	が3月末	マブの入力結果を基に、年度の事業 に時点でどのような進捗状況かを選	□ 3. 事業未完了										
択し	てくださし		¬										
		い。 L 事業の成果	□ □ 1. 目標を上回る										
		事業の成果											
		い。	□ □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり										
標を	達成でき	事業の成果 [事業の成果 [の入力結果を基に、年度末実績が目 [きたかどうかを選択してください。 [重の成果を踏まえた今後	1. 目標を上回る2. 目標どおり3. 目標を下回るの方向性【ACTION】										
標を	達成でき	事業の成果 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	1. 目標を上回る2. 目標どおり3. 目標を下回るの方向性【ACTION】1. 拡充	1-1 意図的 1-2 制度的		■ 4-1 意図 □ 4-2 制度	図的に縮小 度的に自然減少	>					
標を	事業	事業の成果 「 「 事業の成果 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	 1.目標を上回る 2.目標がおり 3.目標を下回る の方向性【ACTION】 1.拡充 口2.改善継続 □3.現状維持 	1-2 制度的 2-1 手段等	に自然増加 の改善	□ 4-2 制度 □ 5-1 臨年	度的に自然減少 実施等、意図						
標を	事業	事業の成果 「 事業の成果 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	□ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ の方向性【ACTION】 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 ■ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了	1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-2 制度 □ 5-1 臨 □ 5-2 意图 □ 5-3 制度	度的に自然減少 〒実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	的に休止					
標を 8.	連成でき 業 当のよ	事業の成果 事業の成果	□ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標がより □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 5. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 ■ 4. 縮小	1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	に自然増加 の改善 、簡素化 との統合 て、地域外の人材	□ 4-2 制度 □ 5-1 臨4 □ 5-2 意図 □ 5-3 制度 □ 5-3 制度 □ 6種極的に誘致し、2	度的に自然減少 甲実施等、意図 図的に廃止 度的に終了 E住・定着を図るこ。	的に休止					

※年度別の取り組みを簡潔に記入

事務事業評価シート

 事務事業→ト
 022004
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域おこし協力隊事業費(気高町)
 所属名
 気高町総合支所
 気高町総合支所地域振興課

1	Ħ	-	小主	ᇷ

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

年度別実績

	- 113 1 IV						
位総	体系区分	<u>'</u> -		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち)		事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまち	づくり	根拠法令、		
17 O	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		依拠法市、 根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	化灰山画寺	
目無無	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民に	こよる交流の	件数	1件	30件	運営方法	直営
0)	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地場	或おこし協力	力隊事業費(気高町地域	或振興課)		予算事業コード	01-02-01-07-37-33

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	鳥取市西いなば地域
意図 (どのような状態 にするために)	大都市圏から協力隊員を受け入れ、地域資源を活用したまちづくりを行う。
手段 (どうするのか)	協力隊員と地域住民が連携し、気高道の駅(仮称)整備に伴うまちづくりの推進、山陰海岸ジオパーク拡大に伴う地域資源を活用したまちづくりを行う。

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	振興協議会等 各種会	①鳥取市西いなば地域 振興協議会等 各種会 議参加 企画等			
		①鳥取市西いなば地域 振興協議会等 各種会 議参加 企画等 ・まちづくり会社設立				

		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業	美費(A+B)	3,527	0	0	0	0
=	直	接経費 A	3,527	0	0	0	0
Ì	E	国・県	0	0	0	0	0
3	直接組費の		0	0	0	0	0
	源内		0	0	0	0	0
		一般財源	3,527	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		地域おこし協力隊採用人数	Y	目標	1	1	0	0	0
	1		入	実績	1	1	0	0	0
, _		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
121				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)	•				_		

5	平.	7成	28年度の事務事業実	施根	要	[D	0]			※育	前年	度の	取り組	みを具体	的	こ記入	(予算	算事務事業の事	業概	要と連動)
						引】	引合せた	も】気i	高町	総合支	所	地域	振興課	₹ 0857-8	32-0	011				
						[1	LO次約	総の施賃	策体	系】32	202									
						【 実。伴【	予業取にに地業との市向に域のほのは、	既要】 要商での源 重算での源果度 要度	要 会大整利 3,	中心と 中圏調 用」 275	なら研実・千	り策気 地域 完 施 を ラ	ごした おこし† 「まちっ て援すっ	協力隊員 づくり会 る。	i西いた を 注社記	ハなば 募集、 设立準	地域採用備」	振興グランド し、地域活性 「ジオパーク 備に伴うまち	化にI エリ)	取り組む ア拡大に
		Ę	事務事業の実施概要	Ī		平た平ま【鳥	山党 全様 はいい はい はない はい	学 (((((((((((((パー 5, 3 2 2 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ク 9 の	アチュー 201 た ジ	拡大の 15in 準備 オパー	P R © 身取西 © ークエ	の実施 いなば」 リア拡大	の関	開催、 好機と	気高 捉え	道の駅(仮称 、関係機関等 任期終了後は) 整(と連	備に向け 携し、地
														る必要が						
_																				
6	. 活	뒠]指標の達成率 【CHE							- 					1 70	-	- rt-	一ませんたち	1	+
H	T		地域おこし協力隊採用人数	指標	票名					半队	,28	年度_		29年度		成304	中度	平成31年度	+	·成32年度
指標	1	1										100%		100%						
适成	ا ا	2																		
淬	<u> </u>	3																		
7	語	平価	i [CHECK]																	
			項目と評価の視点				评価内?						評値	西理由(記	平価	の視点	を踏	(まえて記入)		
		年	度計画の進捗度				町を上回 町どおり													
計画	業実 動が3	月末	プの入力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況かを選				また。 ま未完 「													
D/C	, , ,	,	・ 事業の成果				票を上回													
			入力結果を基に、年度末実績が目 たかどうかを選択してください。				票どおり 票を下回													
8	事	工業	の成果を踏まえた今後	éの	方向	5件	[AC]	[NOI												
Ť		- //	(V) / / / C E C /	_		拡き		10117		1-1	卮	意図的	に拡充	Ē		4-1	意	図的に縮小		
			今後の方向性				ら継続 大維持			1-2 2-1					_			度的に自然減 年実施等、意図		-/ - -/-
			/ 攻♥//川川丘			堀1				2-2	交	办率化	、簡素	化		5-2	意	図的に廃止	ግ ከ ጊ I 🧢	- 1/LTT
L								- 、終了 9年9月末		2-3								度的に終了 への定住につながる	側面的:	か支援が必要
1.	今()か	多の るよ	課長の評価コメント う方向性」を判断した理由が う、数値等を用いた具体的、今後の改善プランを記載)	であ		ڑمل∣ ∽	,1~ // <u>/</u> /	- 10/1/		\$49 y \$	1005	-4- I-VK V	. m 291 1 / X		ملا ،	·· / / / / / / / / / / / / / / / / / /	- ш ⁻	- New part (** 21 (g. 10 ** (g)	o apar er J	A.W.

 事務事業コード
 022101
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域活性化推進事業(国府町)
 所属名
 国府町総合支所
 国府町総合支所
 国府町総合支所地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	小手	잸	

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づ総合計画	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまち・	づくり	根拠法令、	なし	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		根拠法市、 根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	その他
目標の	まちとむらの住民に	こよる交流の	件数	1件	運営方法	直営	
0,	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 国際	舟地域活性	化推准事業費			予算事業コード	01-02-01-07-37-01

2 事業目的【PIAN】

4. 事未口的	(LAN
対象 (何を、誰を)	地元団体(自治会・任意団体等)
意図 (どのような状態 にするために)	国府地域のめざす将来像を「安全に安心して暮らせる、住みたいまち・住んで良かったといわれるまち「万葉のふるさと国府」」と定め、地域の個性を生かした地域振興の継続発展と協働によるまちづくりを推進する。
手段 (どうするのか)	地域振興のテーマである「美しい郷土を築く」の実現に向けて、地域住民と行政とが協働して、次の3つの事業を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	争表の:	<u> 平 </u>	· 夫稹 【PLAN·DO】 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
内容	年度	E 別計画	①協働活動支援事業(農林道等整備ほか) ②花づくりと緑化推進 事業 ③袋川清掃事業	①協働活動支援事業(農林道等整備ほか) ②花づくりと緑化推進 事業 ③袋川清掃事業	①協働活動支援事業(農林道等整備ほか) ②花づくりと緑化推進 事業 ③袋川清掃事業	①協働活動支援事業(農林道等整備ほか) ②花づくりと緑化推進 事業 ③袋川清掃事業	①協働活動支援事業(農林道等整備ほか) ②花づくりと緑化推進 事業 ③袋川清掃事業				
台	年度	E別実 績	①協働活動支援事業(農林道等整備ほか) ②花づくりと緑化推進 事業 19団体 ③袋川清掃事業(雨天 中止)								
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
	事業費	貴(A+B)	597	0	0	0	0				
事	直接	経費 A	597	0	0	0	0				
業	±+±.4 ∀	国・県	0	0	0	0	0				
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0				
	源内訳	その他	0	0	0	0	0				
1		一般財源	597	0	0	0	0				

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		花づくりと緑化推進団体数	団体	目標	22	22	22	22	22
	1		<u> </u>	実績	19	0	0	0	0
\-		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動 指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IV.				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. ³	平成28年度の事務事業実施	既要【DO】 【問い合わせ先】国				事務事業の事	業概要と連動)		
		【10次総の施策体	系】3202						
		【予算計上の経過】	なし						
		②花づくりと緑化 (環境美化ボ ③袋川清掃事業	路等の維持管理	動支援))				
	事務事業の実施概要	○事業実績 H: H:	事業の成果】 美しい郷土を築くため、環境ボランティア活動の支援を行った。 ○事業実績 H26年度 708千円 H27年度 738千円 H28年度 597千円						
	【今後の課題・方向性】国府地域の環境対策として、継続実施する。								
6. 3	活動指標の達成率【CHEC	<1							
Ë		票名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指			86%						
標達	2								
成 率	3								
7 1	評価【CHECK】								
	評価項目と評価の視点	評価内容		評価理由(討	平価の視点を踏	まえて記入)			
計画が	年度計画の進捗度	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了							
[指標]	事業の成果	1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る	地域の高齢化	, 人口減少によ	る活動団体の源	ず少と考えられる	00		
<u> </u>	事業の成果を踏まえた今後 <i>の</i>	方向性 【ACTION】							
J. =		1. 拡充	1-1 意図的 1-2 制度的	•	□ 4-1 意[□ 4-2 制 <i>j</i>		,		
	今後の方向性 □	3. 現状維持	2-1 手段等 2-2 効率化	の改善 、簡素化		年実施等、意図 図的に廃止			

 事務事業コード
 022102
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域活性化推進事業(福部町)
 所属名
 福部町総合支所
 福部町総合支所地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	小手	잸	

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づ総合計画	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ問け	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
17 O	施策	3202	魅力ある中山間地域の振興			根拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
目施	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	外部委託
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 福富	化推准事業費			予算事業コード	01-02-01-07-37-02	

2 事業目的【PLAN】

4. 争未日的	(PLAN)
対象 (何を、誰を)	「ふくべ地域」の魅力あふれる自然、特産品など
意図 (どのような状態 にするために)	全国に情報発信し、これに興味を持った地域外住民等を福部に呼びこみ、交流を盛んにするなどして地域の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	楽居大学HPの運営や、グリーンツーリズムの実施団体の支援。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>3.</u>	事果の:	牛度別計画	・美稹 【PLAN・DO】			※年度別の	<u>取り組みを間潔に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画		①「ふくべ楽居大学」 ホームページの管理委 託の実施。		①「ふくべ楽居大学」 ホームページの管理委 託の実施。	①「ふくべ楽居大学」 ホームページの管理委 託の実施。
台	年度	 野実績	①「ふくべ楽居大学」ホームページの管理経 東支出 36千円 ②若手らっきょう生産 者の支援 ・会合開催 ・小学校へのらっきょ うの花プランター贈呈				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	215	0	0	0	0
事			215	0	0	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
Ī		一般財源	215	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		「ふくべ楽居大学」ホームページの管理委託	П	目標	36000	36000	36000	36000	36000
	1		1 1	実績	36000	0	0	0	0
,_		(指標の説明) 契約内容の完全執行							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1,734				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事	<u> 務</u> 事業美施概要	E [DO]		※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	耒慨安と連 期)
		【問合せ先】	福部町	丁総合支所 均	也域振興課 ((0857-75-2811))	
		【10次総の施	策体系	系】3202				
		【予算計上の経	[過]	当初予算 P 27	2 (支所006)			
		うなどの特 ②らっきょう ・若手の生 た。また	産品な 生産を 産農家	などの情報やク を通して地域の なが抱えている	「リーンツーリ)活性化のため う課題、問題点 であるらっきょ	ズムの体験型 の活動をする などの解決策 うの花の周知	地域の自然、砂メニューを紹介 若手営農者なと について会合を を図るため市内	↑ ごの支援。 ごう回実施し
事務事業の	実施概要		27年月	度 201千円 度 148千円 度 215千円				
	【今後の課題・	【今後の課題・方向性】 HP及びグリーンツーリズムの内容のさらなる充実。						
6 活動化博の法式	変【CHECK】							
6. 活動指標の達成	指標名			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
「ふくべ楽居大学」				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指 1 「ふくべ楽居大学」 指 標 達 2	指標名				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指 1 「ふくべ楽居大学」 標	指標名				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指 1 「ふくべ楽居大学」 措 標 達 2 成 率 3	指標名				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指 信 達 2 成 率 3	指標名	託						平成32年度
指標達2 成率3 7. 評価【CHECK 評価項目と評価の	指標名 ホームページの管理委 プ視点			100%		平価の視点を踏		平成32年度
指標達 2 成率 3 7. 評価【CHECK 評価項目と評価の進: 事業集績タブの入力結果を基に	指標名 ホームページの管理委 】 の視点 1. 1. 2. 2. 2. 3. 3. 3. 3. 3	評価内容 計画を上回る 計画どおり		100%	評価理由(言	平価の視点を踏		平成32年度
指標達 2 成率 3 T. 評価【CHECK 評価項目と評価の進	指標名 ホームページの管理委	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了		100%	評価理由(詞学」のHP運営(平価の視点を踏の継続。	まえて記入)	
指標達 2 成率 3 7. 評価【CHECK 評価項目と評価の進語を計画の進語を表現しています。	指標名 ホームページの管理委	評価内容 計画を上回る 計画どおり		100%	評価理由(記学」のHP運営(平価の視点を踏 の継続。 することで、引き		
指標達2 成率3 7. 評価【CHECK 評価項目と評価の生活を表現的である。これでは、1000年度計画の進活を表現しています。これである。これでは、1000年度によっています。これでは、1000年度計画の進行を表現しています。これでは、1000年度によります。1000年度によりをはまります。1000年度度によります。1000年度度によります。1000年度によります。1000年度によります。1000年度によります。1000年度によりま	指標名 ホームページの管理委 カースページの管理委 カースページの管理を カースページの表現を カースページのを カースページの表現を カースペ	評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る		100%	評価理由(記学」のHP運営(平価の視点を踏 の継続。 することで、引き	まえて記入)	
指標達 2	指標名 ホームページの管理委 かけ	評価内容 計画を上り 事業未完了 目標をより 目標を下回る		100%	評価理由(記学」のHP運営(平価の視点を踏 の継続。 することで、引き	まえて記入)	
指標達 2 成本 3 7. 評価【CHECK 評価項目と評価の 生き計画の 進語 計画が3月末時点でどのような進択してください。 事業の成男 「指標)タブの入力結果を基に、年度計画を表してください。 事業の成男 (指標)タブの入力結果を基に、年	指標名 ホームページの管理委 カースページの管理委 カースページの管理を カースページの表現を カースページの表現	評価内容 計画を上回る 計画とおり 事業未完了 目標を上回る 目標を下回る	1	100% 「ふくべ楽居大 「ふくべ楽居大 関する情報など	評価理由(記学」のHP運営(学」のHP運営(学」のHP運営(対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	平価の視点を踏 の継続。 か継続。 することで、引き できた。	まえて記入)	
指標達 2 成率 3 7. 評価【CHECK評価項目と評価の進語を表演している。事業の成果を踏りますの入力結果を基準を表示している。事業の成果を基準を達成できたかどうかを選択している。 事業の成果を踏りますの、 まましている はんしょう はんしょく はんしょく はんしょう はんしょ はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんし	指標名 ホームページの管理委 カースページの管理委 カースページの管理を カースページの信息を カースペーンを カースペーンを	評価内容 計画を上おり 事画をお完了 目標をお下回り回る 向性【ACTION】 放養継続		100% 「ふくべ楽居大 「ふくべ楽居大 関する情報なと 1-1 意図的 1-2 制度的	評価理由(記学」のHP運営で 学」のHP運営で 学」のHP運営で で全国に発信	平価の視点を踏 の継続。 することで、引きできた。	まえて記入) 続き特産品である 変的に縮小 変的に自然減少	つるらっきょうに
指標達 2	指標名 ホームページの管理委 カースページの管理委 カースページの管理委 カースページの管理委 カースページの管理委 カースページの管理委 カースページの	評価内容 計計事業では である 計事業である 目標標を をお下のの が、 が、 が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		100% 「ふくべ楽居大 「ふくべ楽居大 関する情報なと 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	評価理由(記学」のHP運営で 学」のHP運営で 学」のHP運営で を全国に発信 に拡充に自然増加 の改善	平価の視点を踏 の継続。 することで、引き できた。	まえて記入) 続き特産品であ 変的に縮小な減少 年実施等、意図	つるらっきょうに
指標達 2 成率 3 7. 評価【CHECK評価項目と評価の進語を表演している。事業の成果を踏りますの入力結果を基準を表示している。事業の成果を基準を達成できたかどうかを選択している。 事業の成果を踏りますの、 まましている はんしょう はんしょく はんしょく はんしょう はんしょ はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんし	指標名 ホームページの管理委 つけらに	評価内容 計画を上おり 事画をお完了 目標をお下回り回る 向性【ACTION】 放養継続		100% 「ふくべ楽居大 「ふくべ楽居大 「ふくべ情報など 1-1 意制段と 2-1 対の 2-1 対の 2-2 他等 2-3 他等	評価理由(記学)のHP運営(学)のHP運営(を全国に発信を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	平価の視点を踏 の継続。 することで、引き できた。 ロ 4-1 意 ロ 5-1 臨 ロ 5-2 制 ロ 5-2 制 ロ 5-3 制	まえて記入) 記さい で記入) 変的に自然が 変的に自然が 変ののに ののに	つるらっきょうに

 事務事業→・
 022103
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域活性化推進事業(河原町)
 所属名
 河原町総合支所
 河原町総合支所
 河原町総合支所地域振興課

1. 基本情報

1. 02317	T I II TK						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ総合計画の	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	- 211 1-2111 12 - 12 - 1			平成28年度 ~ 平成32年度
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
¹⁷ の	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興	依拠法市、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目盤	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目焼棚	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	直営
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	算 予算事業名 河原地域活性化推進事業費					予算事業コード	01-02-01-07-37-03

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	安全安心に暮らせる街づくりを推進する
手段 (どうするのか)	青色防犯パトロール実施、あいさつ運動、あいさつ標語(啓発)看板の設置等を行う

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①あいさつ運動 ②安心安全のぼり旗設 置 ③青パト事業 ④環境美化推進事業 ⑤安心安全踏査事業	①あいさつ運動 ②安心安全のぼり族設 置 適青バト事業 ④環境美化推進事業 ⑤安心安全踏査事業	①あいさつ運動 ②安心安全のぼり旗設 置 ③青パト事業 ④環境美化推進事業 ⑤安心安全踏査事業	①あいさつ運動 ②安心安全のぼり族設 置 適青パト事業 ④環境美化推進事業 ⑤安心安全踏査事業	①あいさつ運動 ②安心安全のぼり旗設 置 ③青パト事業 ④環境美化推進事業 ③安心安全踏査事業
台	年度	 医別実績	①あいさつ運動 ②安心安全のぼり旗設 置 ③青パト事業 ④環境美化推進事業 ⑤安心安全踏査事業				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業	費(A+B)	230	0	0	0	0
事	直接	経費 A	230	0	0	0	0
業	±+÷ 47	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	230	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】 指標名 単位 区分 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 也域美化推進事業参加人数 目標 100 100 100 100 100 実績 110 0 0 0 (指標の説明) 活動指標 目標 0 0 0 実績 0 0 (指標の説明) 目標 0 0 0 実績 3 (指標の説明)

5.	平点	戊28年度の事務事業実カ	也似女【ロロ】	※削牛度の	取り組みを具体	いいこれのアンドラ	・尹仂尹未の尹	未似女C连到/
			【問合せ先】河原町	総合支所 地域	振興課 0858-7	76-3111		
			【10次総の施策体	系】3202				
			【予算計上の経過】 予算事業別概要	目次:当初予算	算・P 2 7 4 ((支所010)		
			【事業の概要】 新市域の活性化 ことにより、地域					養と連携する
			【事業の成果】 事業内容 ・あいさつ運 ・安心安全踏	動・青色防犯/ 杏事業	ペトロール事業	・環境美化推議	進事業	
		事務事業の実施概要						
			・平成26年度 ・平成27年度 ・平成28年度	235千円				
			【今後の課題・方向 新市域振興ビジ		ナナセカ - 今谷	オトリー屋の	玄宝な図る	
			利川奥派典しク	コンに圧匪的り) しわり、ケ1枚	[もより一層の]	元夫を囚る	
L								
6.	活重	助指標の達成率 【CHE			—	I —		
H	T	」 地域美化推進事業参加人数	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標	1			110%				
達成	2							
率	3							
7.	評估	面【CHECK】						
		西項目と評価の視点	評価内容		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
	年		□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり					
計画			– 2. II E C 65 /					
-	てくださ	末時占でどのようた准株状況かを選 ▮	□ 3. 事業未完了					
	てくださ	末時点でどのような進捗状況かを選い。	□ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る			子どもたちの通 げている。	学の安心安全な	など安心安全
	標]タブ(末時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	□ 3. 事業未完了□■ 1. 目標を上回る□ 2. 目標どおり□ 3. 目標を下回る		青少年の防犯、 大きな効果をあ		学の安心安全を	など安心安全
標を	標]タブ(6 達成で	未時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	□ 3. 事業未完了□■ 1. 目標を上回る□ 2. 目標どおり□ 3. 目標を下回る□				学の安心安全を	など安心安全
標を	標]タブ(6 達成で	未時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。 まの成果を踏まえた今後	□ 3. 事業未完了□■ 1. 目標を上回る□ 2. 目標どおり□ 3. 目標を下回る□□□○○○方向性【ACTION】	なまちづくりに	大きな効果をあ	げている。		など安心安全
標を	標]タブ(6 達成で	未時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 D入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。 まの成果を踏まえた今後	□ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 ■ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続	なまちづくりに; 1-1 意図的 1-2 制度的	大きな効果をあ に 拡充 に自然増加	げている。 □ 4-1 意 □ 4-2 制	図的に縮小 度的に自然減少	,
標を	標]タブ(6 達成で	末時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。 まの成果を踏まえた今後 今後の方向性	□ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持	なまちづくりに;	大きな効果をあ に拡充 に自然増加 の改善	げている。 □ 4-1 意 □ 4-2 制	図的に縮小 度的に自然減少 軍実施等、意図	,
標を	標]タブ(6 達成で	末時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。 まの成果を踏まえた今後 今後の方向性	□ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	大きな効果をあ に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	げている。 □ 4-1 意図 □ 4-2 制版 □ 5-1 臨4 □ 5-2 意図 □ 5-3 制版	図的に縮小 度的に自然減少 〒実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	、 的に休止
標を 8. (「たれ	割を対しています。単独の表現では、ままり、は、ままり、は、ままり、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	末時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。 まの成果を踏まえた今後 今後の方向性 な課長の評価コメント	□ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	1-1 意図的 1-2 制度等 2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 効率化 2-3 がは地域の確保等、犯罪発生のの確保等、犯罪発生の	大きな効果をあ に拡充 に自然増加 の改素化 との統合 主民主体で行う当事	げている。 □ 4-1 意 □ 4-2 制 □ 5-1 臨 □ 5-2 意 □ 5-3 制 m	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図 図的に廃止 度的に終了 ^{成果の高い取り組み・}	、 的に休止 である。とくに小中

 事務事業→ト
 022104
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域活性化推進事業(用瀬町)
 所属名
 用瀬町総合支所
 用瀬町総合支所
 用瀬町総合支所
 大田瀬町総合支所
 大田本総合支所<

1	Ħ	-	小主	ᇷ

1. 257	TY I H TIX						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、		
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		依拠法市、 根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	似灰山四寸	
目施 世策	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	施設管理
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	外部委託
0,	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 用液	盾地域活性	化推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-37-04

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	地域の優れた自然景観や街並み等
意図 (どのような状態 にするために)	地域資源として活用し、地域の活性化と市域のバランスのとれた発展を図る
手段 (どうするのか)	市民との協働により地域資源(中津美渓谷、用瀬宿街並み・瀬戸川等)の整備を行い、景観の保全と活用を図る。 芸術家と児童生徒が作品つくりを通し、交流する。 空き家の利活用のための調査、検討を実施する。

_			
3.	事業の年度別計画・実績	[PLAN·DO]	

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>3.</u>	事果の:	牛皮別計画	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の』	<u>取り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	医别計画	①中津美渓谷整備事業 ②江波集落資源整備事 業 ③流しびなの里推進事 業 ④児重生徒芸術交流事 業 ⑤過疎地域振興推進員 の設置(1名)	①中津美渓谷整備事業 ②江波集落資源整備事業 3 3流しびなの里推進事業 ④児童生徒芸術交流事業 ⑤過疎地域振興推進員 の設置(1名)	①中津美渓谷整備事業 ②江波集落資源整備事 業 3流しびなの里推進事 業 ④児童生徒芸術交流事 業	①中津美渓谷整備事業 ②江波集落資源整備事 業 ③流しびなの里推進事 業 ④児童生徒芸術交流事 業	①中津美渓谷整備事業 ②江波集落資源整備事 業 ③流しびなの里推進事 業 ④児童生徒芸術交流事 業
т т	年度	 医別実績	①中津美の滝周辺整備 作業委託 ②江波三番叟観覧用木 製椅子・集落案内看板 の作成事業委託 ③流しびなの館の絵馬 掛け制作・設置委託 ④芸術家と児童生徒の 交流事業 ⑤空き家調査等				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	2,388	0	0	0	0
事	直接	経費 A	2,388	0	0	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,388	0	0	0	0

	J. 111.	で以入りること大心しに占到の人と	<u> </u>	/ 111 1/1	[FLAN-DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		各事業参加人数	,	目標	100	100	100	100	100
	1		八	実績	110	0	0	0	0
\-T		(指標の説明)事業は市民との協働に	よる実力	施のため)、参加人数を打	旨標とする。 事業	美内容により目標 かんしょう こうかん かいかん かんしょ かんしょ しょう かんしょ しょう かんしょ しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	票値を毎年見直	すこと。
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1XX				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)				•	•	•	

5.	平成2	28年度の事務事業実					「事務事業の事	業概要と連動)
			【問合せ先】用瀬町	総合文別地域扱	₹興課 0858-8	77-2111		
			【10次総の施策体	系】3202				
			【予算計上の経過】	なし				
			【事業の概要】	知业》和工工工	ーゲロトットリ	+ =1.0#	年 ()~ 1- 10 末(/世)。	· 557 1 1 1
			優れた自然景観等を に、さらなる活性化					
			【事業の成果】					
			○地域資源活用整備 中津美整備事業		幹を実施。			
			江波三番叟観覧用 流しびなの館絵馬			施。		
	事	務事業の実施概要	○過疎地域振興推進 用瀬地域の過疎化	員の設置		(化を図るため)	温硅地域振開料	生准員を設置
			して過疎集落に関すに、用瀬町内の空家	る情報収集、明	見状把握及び分	析、各種補助	金の活用支援な	よど行う。特
			利活用の計画を策定		明白 /市 マパ白 『主』し	((二円() /二炬圾(グタ中間 フトリカ	くい、共体的な
			【今後の課題・方向		U. I.A. o. #4/#	or end		
			継続して地域住民	のニース把握し	ノ、地域の整備	を図る。		
6.	活動:	指標の達成率【CHE		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			ECK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標	1				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成	1 2				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達	1				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1 ² 2 3				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率 7.	1 2 3	子事業参加人数	指標名 評価内容			平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度
指標達成率 7.	1 2 3 評価 評価	子事業参加人数 【CHECK】	指標名					平成32年度
指標達成率 7.	1 2 3 評価 字 [] \Biggr [] \Biggr[] \Biggr[[] \Biggr[] \Biggr[] \Biggr[] \Biggr[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[] \Biggr[[]] \Biggr[[]] \Biggr[不事業参加人数 【CHECK】 項目と評価の視点 度計画の進捗度 の入力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況かを選	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了					平成32年度
指標達成率 7.	1 2 3 評価 平原 (スださい)	「CHECK」 「国目と評価の視点 要計画の進捗度 「の入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □					平成32年度
指標達成率 7. 事團人	1 2 3 評価 年月 年月 タラウス ください コタブのみ	「「CHECK」 「項目と評価の視点 要計画の進捗度 「の入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選っ。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり					平成32年度
指標達成率 7. 事團人	1 2 3 評価 年月 年月 タラウス ください コタブのみ	不事業参加人数 【CHECK】 項目と評価の視点 度計画の進捗度 の入力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況かを選 事業の成果	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □					平成32年度
指標達成率 7. 事業画式 指標を設	1 2 3 評価 1 年 月	「CHECK」 「国目と評価の視点 要計画の進捗度 「の入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選 ・ 事業の成果 、力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標をより □ 3. 目標を下回る					平成32年度
指標達成率 7. 事業画式 指標を設	1 2 3 評価 1 年 月	「CHECK」 「国目と評価の視点 要計画の進捗度 「の入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選 ・ 事業の成果 、力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	1-1 意図的	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
指標達成率 7. 事業画式 指標を設	1 2 3 評価 1 字(1)タオの 2 字(1)タオの 2 字(1)タオの 2 字(1)タオの 3 字 第 業 (1)	「CHECK」 「国目と評価の視点 要計画の進捗度 「の入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選 ・ 事業の成果 、力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制	まえて記入)	X
指標達成率 7. 事業画式 指標を設	1 2 3 評価 1 字(1)タオの 2 字(1)タオの 2 字(1)タオの 2 字(1)タオの 3 字 第 業 (1)	「CHECK」 「国目と評価の視点 要計画の進捗度 の入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選 ・事業の成果 、力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化	に拡充 に放発増加 の の 簡素化	平価の視点を踏 四 4-1 意 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意	図的に縮小 を を は の の に の の に の を の に の を の を の の の の の の	X
指標達成率 7. 事業画式 指標を計算して 第一章 1 表 1 表 2 表 3 表 3 表 3 表 3 表 3 表 3 表 3 表 3 表 3	1 2 3 評評 年月 タンス アンファン・マンス アンファンス アンス アンファンス アンス アンファンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス ア	「CHECK」 「国目と評価の視点 要計画の進捗度 の入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選 ・事業の成果 、力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	110% 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手來率化 2-2 他事業	に拡充 (に拡充 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	平価の視点を踏 四 4-1 意に 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意に 日 5-3 制加	要的に に ない で で 記入) で 記入) で 記入 が に に に ない が に に を 変め に 終 で の の に 終 了	かに休止
指標達成率 7. **** **** **** **** *** *** *** ***	1 2 3 評評 年月 2 3 評評 年月 2 3 1 1 1 2 2 3 3 1 2 2 2 3 3 2 2 2 2 2	「CHECK」 「国目と評価の視点 要計画の進捗度 「の入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選 事業の成果 、力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	110% 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手來率化 2-2 他事業	に拡充 (に拡充 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	平価の視点を踏 四 4-1 意に 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意に 日 5-3 制加	要的に に ない で で 記入) で 記入) で 記入 が に に に ない が に に を 変め に 終 で の の に 終 了	かに休止

事務事業コード 022105 重点施策 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 地域活性化推進事業(佐治町) 所属名 佐治町総合支所 佐治町総合支所地域振興課

1. 基本情報

1.02577	T TH TK						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成17年度 ~ 全期
づ問け	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
17 O	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		依拠法で、 根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施 世策	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数		1件	30件	運営方法	直営	
0,	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 佐澤	台地域活性	化推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-37-05

2. 事業目的	
対象 (何を、誰を)	地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	佐治地域の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	地域住民との協働による地域づくりを推進する。

3.	事業の	年度別計画	i·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	 野計画	①地域づくりを通して 地域活性化を推進する。	①地域づくりを通して 地域活性化を推進する。	①地域づくりを通して 地域活性化を推進する。	①地域づくりを通して 地域活性化を推進する。	①地域づくりを通して 地域活性化を推進する。
ţi ti	年度	 野別実績	①地域づくりを通して 地域活性化を推進。 ・中山間地域振興推進 員の配置 ・旧佐治中学校校庭の 芝生化 ・「小さな拠点事業」 の検討				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業	費(A+B)	3,007	0	0	0	0
事	直接	経費 A	3,007	0	0	0	0
業	古拉尔	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	1,200	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,807	0	0	0	0

指標名 単位 区分 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標 3007 0 千円 実績 0 0 3007 (指標の説明) 地域づくり活性化団体の活動支援と協働推進に不可欠 活動指標 目標 0 0 0 実績 0 0 (指標の説明) 目標 0 0 0 実績

(指標の説明)

3

5.	平成28年度の事務事業実施	概要 【DO】 ■【問合せ先】佐治町紅				事務事業の事	業概要と連動)
		【10次総の施策体	系】3202				
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次	、: 当初予算・	P 2 7 9 (支)	020)		
		【事業の概要】 急速な過疎化・高齢 推進し、地域の活性性 ○ 中山間地域振り ○ 旧佐治中学校村 ○ 「小さな拠点	化を図る。 興推進員の配置 校庭の芝生化		、地域住民と	の協働による均	也域づくりを
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成26年度 2,277 平成27年度 2,064 平成28年度 3,007	4千円				
		【今後の課題・方向 佐治町の魅力を地域		「る事業や地域	課題の解決を	支援する事業に	こ取り組む。
6	活動指標の達成率【CHEC	ĸ1					
_		標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指揮	事業費	標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達式	1 事業費 2	標名		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1 事業費	標名		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成率	1 事業費 2 3	標名		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
7.	1 ************************************	評価内容			平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度
7.	1 事業費 2 3 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	評価内容 1.計画を上回る					平成32年度
7.	1 事業費 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	評価内容] 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了					平成32年度
7.	事業費 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 *** *** *** ** ** ** ** ** ** ** ** *	評価内容] 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 					平成32年度
成率 7. 事調択 路標	事業費 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果	評価内容] 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る					平成32年度
成率 7. 事画し 指標	事業費 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果	評価内容] 1. 計画を上回る 2. 計画どおり] 3. 事業未完了]] 1. 目標を上回る 2. 目標だおり 3. 目標を下回る					平成32年度
成率 7. 事画し 指標	1 事業費 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 株実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 影ダブの入力結果を基に、年度末実績が目達成できたかどうかを選択してください。	評価内容 1.計画を上回る 2.計画どおり 3.事業未完了 1.目標を上回る 2.目標を上回る 2.目標を上回る 1.目標を下回る 1.1.目標を下回る 1.1.11	100%	評価理由(言	平価の視点を踏	まえて記入)	
成率 7. 事画し 指標	1 事業費 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ***********************************	評価内容 1.計画を上回る 2.計画どおり 3.事業未完了 1.目標を上回る 2.目標をといり 1.目標を上のる 1.1.目標を下回る 1.1.目標を下回る 1.1.目標を下回る 1.1.1 ローコール	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制 ロ 5-1 臨	図的に縮小 変的に自然減少 年実施等、意図	>
成率 7. 事画し 指標	1 事業費 2 3 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績はプロスカ結果を基に、年度の事業はが3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 副タブの入力結果を基に、年度末実績が目達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後の 今後の方向性	評価内容 1.計画を上回る 2.計画どおり 3.事業未完了 1.目標を上回る 2.目標をといり 1.目標をといり 1.目標を下回る 2.日標を下回る 1.目標を下回る 1.まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	100% 1-1 意図的 1-2 制度段 2-1 列率 2-2 効事等化 2-3 他事業	に拡発車(inを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平価の視点を踏 コームー1 意 コームー2 制 コーラー1 臨 コーラー2 意 コーラー3 制	図的に縮小 を すらに が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	>
成率 7. 「事計択」 「指標 8. 「わ	1 事業費 2 3 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績はプロスカ結果を基に、年度の事業はが3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 副タブの入力結果を基に、年度末実績が目達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後の 今後の方向性	評価内容 1.計画を上回る 2.計画どおり 3.事業未完了 1.目標を上回る 2.目標をといり 1.目標をといり 1.1.目標を下回る 1.1.目標を下回る 1.1.目標を下回る 1.1.目標を下回る 1.1.目標を下回る 1.1.目標を下回る 1.1.日標を下回る 1.1.日標を下回る 1.1.日標を下回る 1.1.日標を下回る 1.1.日標を下回る 1.1.日標を下回る 1.1.日間に対象を下回る 1.1.日間に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	100% 1-1 意図的 1-2 制度段 2-1 列率 2-2 効事等化 2-3 他事業	に拡発車(inを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平価の視点を踏 コームー1 意 コームー2 制 コーラー1 臨 コーラー2 意 コーラー3 制	図的に縮小 を すらに が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	>

 事務事業コート
 022106
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域活性化推進事業(気高町)
 所属名
 気高町総合支所
 気高町総合支所
 気高町総合支所

	ţ	$\overline{}$	ī	4-	
1	Ŧ	\rightarrow	庄	ᇌ	_

	1113 116						
位総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、		
17 O	施策	3202	魅力ある中山間地域の振興			依拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	化灰山画寺	
目 無 無	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数		0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	まちとむらの住民に	こよる交流の	件数	1件	30件	運営方法	直営
٥٫	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予質	予算事業名 気語	高地域活性	化推准事業費			予算事業コード	01-02-01-07-37-06

 2. 事業目的【PLAN】

 フラワーロードの整備、気高地域内で活動する各団体、組織

 対象 (何を、誰を)
 気高地域住民が地域づくりに参画し、地域の一体感の醸成と地域の活性化を図る。

 意図 (どのような状態にするために)
 気高地域の公共施設にプランターを設置し、県道沿いへ花を植栽する。芸術のまちづくりを推進するほか各種団体や組織のコーディネートを行い、地域の活性化に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

ა.	争表の:	<u> 平伐別計世</u>	「美韻 【PLAN・DO】			※ 年度別の	<u>収り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	医別計画	①フラワーロードの整 備 (プランター設置)	①フラワーロードの整 備 (ブランター設置)	①フラワーロードの整 備 (プランター設置)	①フラワーロードの整 備 (プランター設置)	①フラワーロードの整 備(プランター設置)
台	年度	 野実績	①フラワーロードの整備 ・逢坂地区(郡家) ・浜村地区 ・瑞穂地区				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	1,847	0	0	0	0
事	直接	経費 A	1,847	0	0	0	0
業	古拉奴	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,847	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		フラワーロード	12700	目標	5	5	5	5	5
	1		km	実績	5	0	0	0	0
ът.	(指標の説明)地域づくり活性化団体の			支援と協	場働推進に不可	欠			
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標	(指標の説明)								
IVA				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
ı		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実	施概要【DO】	※削年度の	収り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	未慨安と理判)			
	【問合せ先】気高町	総合支所 地域	振興課 0857 - 8	2-0011					
	【10次総の施策体	【10次総の施策体系】3202							
	【予算計上の経過】	【予算計上の経過】なし							
事務事業の実施概要	【事業別の関係を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	、地域の活性化フラワー若手芸術フラワー地元若 ロサック フラ は マラワー 地域 に アラリー で は 東 アラ 気 高 地域 性 】 気 高 地域	に取り組む。 で整備、気地域での整備、気地域で変による地域で変になる。 での整備、地設でで変に、地域で変に、地域で変にできます。 では、地域である。 では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域では、地域	フラワーロー 地域振興推進 PR映像・作品 の振興を推進 の振興を推進	ドの整備もあれ 員を設置して、 を支援する。 するため各団体	oせて行う。 映画のロケ 本・組織のコ 本・組織のコ			
6. 活動指標の達成率【CHE									
フラワーロード	ECK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
フラワーロード 指 1 標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
カラフラフーロード 指 1 標 達 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
フラワーロード 指 1 標			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
指			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
指 標 達 2				平成30年度		平成32年度			
指	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る					平成32年度			
指標達 2 水率 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 [事業実績9プの入力結果を基に、年度の事業	指標名 評価内容					平成32年度			
1 フラワーロード 指標 達 2 水率 3 3 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □					平成32年度			
1 フラワーロード 指標 達 2 成率 3	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了					平成32年度			
指標達 2 成率 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況がを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る					平成32年度			
指標 2	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 目標を下回る					平成32年度			
1 フラワーロード 指標 達 2 成率 3	指標名 評価内容		評価理由(訂		まえて記入)	平成32年度			
指標達 2	指標名 評価内容	1-1 意図的1-2 制度的	評価理由(i	平価の視点を踏 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制	まえて記入)	***			
指標 2	指標名 評価内容	100% 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 口 4-1 意 口 4-2 制 口 5-1 臨	まえて記入) 図的に縮小 度的に自然減少 軍実施等、意図	***			
指標達 2	指標名 評価内容	100% 1-1 意図的 1-2 制度 2-1 手効率 2-2 他事	に拡充 に直然増加 の簡素化 との統合	平価の視点を踏 四 4-1 意に 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意に 日 5-3 制加	まえで記入) 図的に縮自然、意 図的に施等。止 度的に終了	かに休止			
1 フラワーロード 指標 達 2 成率 3	指標名 評価内容	100% 1-1 意図的 1-2 制度 2-1 手効率 2-2 他事	に拡充 に直然増加 の簡素化 との統合	平価の視点を踏 四 4-1 意に 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意に 日 5-3 制加	まえで記入) 図的に縮自然、意 図的に施等。止 度的に終了	かに休止			

事務事業コード 022107 重点施策 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 地域活性化推進事業(鹿野町) 所属名 鹿野町総合支所 鹿野町総合支所地域振興課

					-
1	-	Ħ-	•	心王	#6

	T I II TK						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	30	也域に活気があるまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ直ける	政策	02	で流の拠点となるまちづくり			担物社会	
17 O	施策	3202	魅力ある中山間地域の振興			根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目 担 策	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	その他
目標の	まちとむらの住民による交流の件数		1件	30件	運営方法	直営	
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数		199人	270人	会計区分	一般会計	
予笪	予質事業名 鹿里	异地域活性	化推准事業費			予算事業コード	01-02-01-07-37-07

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	「四季薫るまち鹿野」を基本理念とした協働のまちづくりの推進
意図 (どのような状態 にするために)	住民と行政の地域づくり協働活動により鹿野の魅力アップを図り地域を活性化する。
	コスモス畑、ハス田等の整備による魅力ある景観の形成。
手段 (どうするのか)	

_	<u>3. </u>	3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】 X年度別の取り組みを間潔に記。							
I			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
				等の整備による魅力あ	等の整備による魅力あ	等の整備による魅力あ	①コスモス畑、ハス田 等の整備による魅力あ る景観の形成		

	年度	的計画					
内容							
	年度		①コスモス畑、ハス田等の整備による魅力ある景観形成を住民参加 により実施した。				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	833	0	0	0	0
事	直接	経費 A	833	0	0	0	0
事業費		国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		6几日十2万	000	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

833

その他 一般財源

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		ボランティアの参加人数	Į.	目標	30	0	0	0	0	
	1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		実績	40	0	0	0	0	
ᅩ		(指標の説明) ボランティアの参加人数								
活動	2			目標	0	0	0	0	0	
指				実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
IVA	3			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5	. 平成28年度の事務事業実施	·梅亜【DO】	※前年度の]	カワムメ細みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	(うら) 業概要と連動)		
Ĕ	十八人〇十尺ツチリッテネヘル		一次前年度075 一种総合支所 地				未侧女 L 左		
		【10次総の施策体系	1 2909						
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算P284 (支所029)						
		地域住民の方や鹿野	【事業の概要】 鹿野地域は「四季薫るまち鹿野」を基本理念として、協働のまちづくりを進めている。 地域住民の方や鹿野を訪れた方に四季の花を通じて、安らぎとゆとりを感じることができ るまちを目指す。コスモス・レンゲによる景観整備60a、蓮花による景観整備12a						
	事務事業の実施概要	とともに、地域の一 H28年度 82 H27年度 47 H26年度 60	【事業の成果】 市民と総合支所の協働を基本とした事業を実施することにより、鹿野地域の振興を図るとともに、地域の一体感の醸成と地域の活性化を推進した。 H28年度 824千円 H27年度 478千円 H26年度 607千円						
		H25年度 48	H 2 5 年度 4 8 8 千円						
		【今後の課題・方向	· · · -	·ナ ベノ n セ . (`# 1 #### の i	エルルカマ			
		より一層、地域住	:氏との励働のま	うつくりを拒	進し、地域の	古性化を凶る。			
L									
6.	. 活動指標の達成率【CHEC		Ⅰ 亚亚00年度 Ⅰ	五十00年度	五十00年由	五十01年由	- 元十00年度		
	ボランティアの参加人数	CK】 f標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指	推 ボランティアの参加人数 1		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標達	指 ボランティアの参加人数 1			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標	指 ボランティアの参加人数 1 2 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標達成	打 ボランティアの参加人数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標達成率	打 ボランティアの参加人数 2 2 3 3 . 評価【CHECK】	旨標名					平成32年度		
指標達成率	指 ボランティアの参加人数 2 2 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	[標名 評価内容	133%	評価理由(訂	平価の視点を踏	まえて記入)			
指標達成率	打 ボランティアの参加人数 1 2 2 3 3 …評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	旨標名		評価理由(訂	平価の視点を踏	まえて記入)			
指標達成率 7	打 ボランティアの参加人数 1 2 2 3 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ***実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 面が月末時点でどのような進捗状況かを選	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	133%	評価理由(訂	平価の視点を踏	まえて記入)			
指標達成率 7	指 ボランティアの参加人数 1 1 2 2 3 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ************************************	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	133% 住民参加により 施した。	評価理由(診)、コスモス畑、/	平価の視点を踏 へス田等の整備	まえて記入)による魅力ある	景観形成を実		
指標達成率 7 事訊別	打 ボランティアの参加人数 1 2 2 3 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ************************************	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	133%	評価理由(言)、コスモス畑、/	平価の視点を踏 へス田等の整備 の地震による影	まえて記入)による魅力ある	景観形成を実		
指標達成率 7 _{事計択} 指	打ボランティアの参加人数 1 2 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績タブの入力結果を基に、年度の事業 画が3月末時点でどのような進捗状況かを選してください。 事業の成果 標別タブの入力結果を基に、年度末実績が目 と達成できたかどうかを選択してください。	i標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る □ 2. 計標を上回る □ 1. 目標を上のる □ 3. 目標を下回る	住民参加により施した。	評価理由(言)、コスモス畑、/	平価の視点を踏 へス田等の整備 の地震による影	まえて記入)による魅力ある	景観形成を実		
指標達成率 7 事計択 指	打ボランティアの参加人数 1 2 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績タブの入力結果を基に、年度の事業 画が3月末時点でどのような進捗状況かを選してください。 事業の成果 標別タブの入力結果を基に、年度末実績が目 と達成できたかどうかを選択してください。		住民参加により施した。	評価理由(言)、コスモス畑、/	平価の視点を踏 へス田等の整備 の地震による影	まえて記入)による魅力ある	景観形成を実		
指標達成率 7 事計訳 指標	打ボランティアの参加人数 1 2 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績タブの入力結果を基に、年度の事業 画が3月末時点でどのような進捗状況かを選してください。 事業の成果 標別タブの入力結果を基に、年度末実績が目 と達成できたかどうかを選択してください。	i標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標をおり □ 3. 目標を下回る □ 0方向性【ACTION】	住民参加により施した。 計画どおり実施り、例年に比べ	評価理由(訂)、コスモス畑、/ ゴできたが10/21 ると来訪者は少	平価の視点を踏いス田等の整備 の地震による影かなかった。	まえて記入) による魅力ある ※響でイベント等	景観形成を実		
指標達成率 7 事歌 指標	1 ボランティアの参加人数 2 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ***実練]タブの入力結果を基に、年度の事業 動が8月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 振]タブの入力結果を基に、年度末実績が目 を達成できたかどうかを選択してください。 「	i標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充	住民参加により施した。 計画どおり実施り、例年に比べ	評価理由(訂)、コスモス畑、/ できたが10/21 ると来訪者は少	平価の視点を踏いス田等の整備 の地震による影かかった。	まえて記入) による魅力ある 響でイベント等	景観形成を実		
指標達成率 7 事歌 指標	1 ボランティアの参加人数 2 3 …評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 動が9月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 標)タブの入力結果を基に、年度本実績が目を達成できたかどうかを選択してください。	i標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標をおり □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 ■ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続	住民参加により施した。 計画どおり実施り、例年に比べ 133%	評価理由(記)、コスモス畑、/ できたが10/21 ると来訪者は少 に拡充 に自然増加	平価の視点を踏いス田等の整備 の地震による影かかった。	まえて記入)による魅力ある を響でイベント等 図的に縮小 度的に自然減少	景観形成を実が中止にな		
指標達成率 7 事計訳 指標	1 ボランティアの参加人数 1 2 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 動が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目を達成できたかどうかを選択してください。 「	i標名 評価内容	住民参加により施した。 計画どおり実施り、例年に比べ	評価理由(記)、コスモス畑、/ できたが10/21 ると来訪者は少 に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏いス田等の整備 の地震による影かかった。	まえて記入)による魅力あるとなっていた。 響でイベント等のに自然減少	景観形成を実が中止にな		
指標達成率 7 事歌 指標	1 ボランティアの参加人数 1 2 3 . 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 動かり月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目を達成できたかどうかを選択してください。 「 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	i標名	住民参加により 施した。 計画どおり実施り、例年に比べ 11-1 意図的 12-1 手敗率化 12-2 他事等 12-3 他事業	評価理由(記)、コスモス畑、/ ごできたが10/21 ると来訪者は少 に拡充 に自然増加 の改素化 との統合	平価の視点を踏 の地震による影 の地震による影 の地震による影 のカックを。	まえて記入)による魅力ある となっている。 となっていないないないないないないないないないないないないないないないないないない	景観形成を実が中止にない		

 事務事業→・
 022108
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域活性化推進事業(青谷町)
 所属名
 青谷町総合支所
 青谷町総合支所地域振興課

1	Ħ	-	小主	ᇷ

	2-1 113 TK									
位総	体系区分	<u>'</u> -		名 称		事業区分名称	区分			
置計	まちづくりの目標	30	也域に活気があるまち			事業期間	全期			
位置づけ	政策	02	で流の拠点となるまちづくり			根拠法令、				
17 0	施策	3202	魅力ある中山間地域の	述力ある中山間地域の振興						
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	根拠計画等				
目無無	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)			
標の	まちとむらの住民に	こよる交流の)件数	1件	30件	運営方法	補助金交付			
0)	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計			
予算	予算事業名 青名	谷地域活性	化推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-37-08			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	青谷地域づくり連絡協議会
意図 (どのような状態 にするために)	青谷地域が有する資源(鳴り砂・因州和紙・青谷上寺地遺跡など)を次代に残すべく地域づくり活動を行うとと もに内外に発信する。
手段 (どうするのか)	その活動のための必要な経費を補助し支援する。

3	. 事業の年度別計画	i·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
		亚战20年度	亚成20年度	亚成30年度	亚成31年度	亚战32年度

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①青谷地域づくり連絡 協議会事業補助金交付 ②因州和紙PR事業	①青谷地域づくり連絡 協議会事業補助金交付 ②因州和紙PR事業			
谷	年度	別実績	①補助金交付 ②4回実施				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		捜(A+B)	799	0	0	0	0
事	直接	経費 A	799	0	0	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	799	0	0	0	0

指標名		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		鳴り砂保全活動・青谷上寺地遺跡学習活動参加人	Y	目標	350	400	450	500	550		
	1	奴	八	実績	488	0	0	0	0		
ᅩ		(指標の説明)									
活動				目標	0	0	0	0	0		
指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
1234				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5.	平月	成28年度の事務事業実施	施概要【	DO]		※前	[年度の]	取り組みを具体	は的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
			1	問合せ先】地	域振							
			1	【10次総の施	策体	系】320	02					
				、 予算計上の経 予算事業別概		次:当	初予算・	P(支所03	36)			
		事務事業の実施概要	次っ活ま	事業の概要】 補助及るでは 代に経承を でいるを はなるので は他の が は他の が は が は は は は は は は は は る の る の る の る の る の る	:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	谷地域 (をな活動 動母体 地域づる (表する)	は地域資動に地域資 動に地域 「青谷地 くり連系 伝統工芸	音源が豊富であ 対住民主体で取 対域づくり連絡 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	なり組んでい 路協議会」の	いる。 の事業	そうした地域	成づくりを行 かをし、地域
			[1 4 7 	【事業の成果】 「青谷地域づくり連絡協議会事業」 1 因州和紙活用活動(夢灯ろう点灯事業) 2 環境美化運動 3 鳴り砂保全活動 4 ふるさとPR活動 5 長尾鼻自然保全活動 6 青谷上寺地遺跡学習活動 7 スタンドアップパドルボード体験(新規) 「因州和紙PR事業」 平成26年度決算額 996千円 平成27年度決算額 824千円 平成28年度決算額 799千円								
				会後の課題・ 地域を活性 し、効果的な	化さ	せよう		且む団体を継続	売支援しつつ	つ、 <i>≜</i>	今後の全体的な	は展開を検討
6	活了	動指標の達成率 【CHE	-CK]									
Ĕ	/11 >		指標名			平成2	28年度	平成29年度	平成30年	度	平成31年度	平成32年度
指	1	鳴り砂保全活動・青谷上寺地遺跡	弥学習活動 <u>参</u>	加人数			139%					
標達出	2			-								
成率	3											
_	=17.7	T COUTOK!										
Γ		西【CHECK】 西項目と評価の視点 ┃		評価内容				評価理由(語	評価の視点	を踏る	まえて記入)	
	左	拝度計画の進捗度		·画を上回る ·画どおり								
計画	画が3月∶]タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選		業未完了								
[指4		事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目できたかどうかを選択してください。	■ 1. 目 □ 2. 目 □ 3. 目	標を上回る 標どおり 標を下回る								
L												
8.	事	業の成果を踏まえた今後					÷=''		T		711 1	
			□ 1. 拡□ 2. 改				意図的 制度的	に拡充 に自然増加			図的に縮小 E的に自然減少	>
		今後の方向性	■ 3. 現□ 4. 縮	l 状維持		2-1 2-2	手段等 効率化		□ 5−1 □ 5−2	臨年 意図	F実施等、意図 図的に廃止 図的に終了	
わ	· 今後()かる。	当課長の評価コメント の方向性」を判断した理由が よう、数値等を用いた具体的 と、今後の改善プランを記載)		車携し効果的な事業					,			

 事務事業コート
 022201
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(マスつりフェスタ)
 所属名
 国府町総合支所
 国府町総合支所地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	\mathbf{x}	小手	잸	

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成 4年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまち・	交流の拠点となるまちづくり			
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の振興			根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目標の	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0)	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算 予算事業名 マスつりフェスタ補助金					予算事業コード	01-06-01-03-03-11

2. 事業目的【PLAN】

2. 事未口的	V. (2) (14)
対象 (何を、誰を)	国府マスつりフェスタ実行委員会及び市民
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市内にとどまらず広範囲からの釣り人やその家族などを迎え、地域住民との交流、地域特産品のPRを行う。 また殿ダムと周辺地域の魅力を発信し地域振興に資する。
手段 (どうするのか)	マスつりフェスタ実行委員会へイベント運営費へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>3.</u>	事業の:	牛度別計画	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	<u>取り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画		①マスつりフェスタ開 催補助	①マスつりフェスタ開 催補助	①マスつりフェスタ開 催補助	①マスつりフェスタ開 催補助	①マスつりフェスタ開 催補助
谷	年度	 野実績	①マスつりフェスタ開催 ・マス釣り大会 ・マスつかみどり ・地元団体による特産 品販売 ・連携イベント(殿ダム)				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	1,944	0	0	0	0
事	直接	経費 A	1,944	0	0	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	1,049	0	0	0	0
		一般財源	895	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		参加人数	Į.	目標	600	600	600	600	0		
	1			実績	1500	0	0	0	0		
ът.		(指標の説明) 広範囲からの釣り人を迎え、地域住民との交流、地域特産品のPRを行う。									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
IVA				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)		•		•			·		

5. 平成	28年度の事務事業実施	既要【DO】 ■【問合せ先】国府町				事務事業の事	業概要と連動)
		 【10次総の施策体	≤系】3202				
		【予算計上の経過】	予算事業別概要	夏目次:当初予	·算・P 2 7 0	(支所002)	
事	4務事業の実施概要	【事業の概要】 [補助金名]国府マ [目 的]豊かな 域振興 する。 [実施内容]主催: 場所: 場所:	マスクリフェスタ は自答 は自答 は は は は は は は は は は は は は は は は	7 実行委員会補 2 関係を 1 関係を 2 別	助金 た地域が一体 府地域の主要 夕実行員会 町楠城地内: 下対象)	となるイベント なイベントとし 袋川)	
6. 活動	指標の達成率【CHEC						
1 1	指 参加人数	標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 1			250%				
達 建 成							
率 3							
7 証価	[CHECK]		•				
<u> </u>	項目と評価の視点	評価内容		評価理由(討	平価の視点を踏	まえて記入)	
年月	其 計 畑(/) 市 枕 耳	1. 計画を上回る 2. 計画どおり					
[事業実績]タス 計画が3月末日 択してください	ブの入力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況かを選	3. 事業未完了					
	事業の成果	1. 目標を上回る 2. 目標どおり					
		2. 日標とあり 3. 目標を下回る					
8. 事業	の成果を踏まえた今後			. 14-2	.	 111. 44.	
] 1-1 意図的] 1-2 制度的		□ 4-1 意[□ 4-2 制』	図的に縮小 度的に自然減少	
-	今後の方向性 [□ 3. 現状維持	【2-1 手段等	の改善	□ 5−1 臨	年実施等、意図	
]2-2 効率化]2-3 他事業		□ 5-2 意[□ 5-3 制]		
(「今後の		ダム及び殿ダム周辺広場の完成にあ					

 事務事業コート
 022202
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(公民館まつり)
 所属名
 教育委員会事務局
 教育委員会事務局福部町分室

1	Ħ	-	小主	ᇷ

	- 113 1W						
位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	地域に活気があるまち			全期
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
17 0	施策	3202	魅力ある中山間地域の振興			依拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似龙山凹寸	
目無無	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	直営
0)	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 公民館祭開催費(福部町教育委員会			分室)		予算事業コード	01-09-04-06-19-02

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	地域の各種団体や個人が丹精込めて制作した作品を展示したり、練習を重ねた様々な分野の芸能を発表したり、文化講演会等を開催する。

3.	事業の	年度別計画	i·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①公民館まつり開催	①公民館まつり開催	①公民館まつり開催	①公民館まつり開催	①公民館まつり開催
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	年度	 医別実績	①公民館まつり開催				
	ľ	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	443	0	0	0	0
事	直接	経費 A	443	0	0	0	0
業	. 	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0

4	咨酒を投 7	、 することで宝施	した活動の大きさを表す指標	

443

一般財源

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		参加者数	Å	目標	1300	1300	1300	1300	0
	1		人	実績	1500	0	0	0	0
ı		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1,734				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)まつりに参加した人数							

0

0

0

5. 平成28年度の事務事業実施概	要【DO】 【問合せ先】教育委員				[事務事業の事	業概要と連動)
	【10次総の施策体系	_	141万至(0001	13 2013)		
		不】 3202				
	【予算計上の経過】					
	【事業の概要】 園児・児童・生徒 によるテント村等の[景示、芸能発表	ほか、PTA	関係・ボランラ	ティア団体等
	【事業の成果】 平成26年度実績 平成27年度実績 平成28年度実績	830千円 参	》加者約1,3	00人		
事務事業の実施概要 【今後の課題・方向性】 地域文化の向上と生き生きとした地域づくりを推進するため、現在は分質 て実施しているが、将来的には検討の余地がある。						5中心となっ
L	<u> </u>					
6. 活動指標の達成率【CHECK 指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
参加者数 1 1		115%				
標 2 2						
承 3						
7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	評価内容		評価理由(評	平価の視点を踏	まえて記入)	
生食計画(/) 市物度	1. 計画を上回る 2. 計画どおり					
[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選	3. 事業未完了					
	1. 目標を上回る	目標の参加者	人数を上回った	•		
	2. 目標どおり 3. 目標を下回る					
係を達成できたかどうかを選択してください。						
8. 事業の成果を踏まえた今後の2						
		1-1 意図的 1-2 制度的		□ 4-1 意[□ 4-2 制]	図的に縮小 度的に自然減少	,
	3. 現状維持	2-1 手段等 2-2 効率化	の改善		年実施等、意図	
	5. 休止、廃止、終了 🗆	2-3 他事業	との統合	□ 5-3 制/	度的に終了	
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的	りには、地区公民館が主催し、また	らつくり協議会と連 打	まして、住民が主体的	Nに運営する事業と	なることが望ましい。	

 事務事業コート
 022203
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(河原城イベント)
 所属名
 河原町総合支所
 河原町総合支所地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	\mathbf{x}	小手	잸	

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	ı		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興	依拠法で、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目焼焼	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	外部委託
•,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予 笪事業名 河原城イベント企画事業費					予算事業コード	01-06-01-03-01-07

 2. 事業目的 【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 お城山展望台河原城 指定管理者風土資産研究会

 意図 (どのような状態 にするために)
 河原地域内外からの集客を増やし、地域活性化につなげる。

 手段 (どうするのか)
 指定管理者である風土資産研究会に委託し、ランドマークである河原城で、チャリティー茶会や以前から伝わる月見会を開催。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	争表の:	<u> 平 </u>	・夫禎 【PLAN・DO】		※ 年度別の取り組みを間深に記入			
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度	E別計画	①大茶会(5月) ②月見会(9月)開催	①大茶会(5月) ②月見会(9月)開催	①大茶会(5月) ②月見会(9月)開催	①大茶会(5月) ②月見会(9月)開催	①大茶会(5月) ②月見会(9月)開催	
台	年度	E別実 績	①春の大茶会(5/3.4)参加者数1,039人 ②月見会(9/24) 参加者数990人					
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費	貴(A+B)	1,420	0	0	0	0	
事	直接	経費 A	1,420	0	0	0	0	
業	±+± 4 ∀	国・県	0	0	0	0	0	
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0	
	源内訳	その他	0	0	0	0	0	
1		一般財源	1,420	0	0	0	0	

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		茶会	Å	目標	1000	1000	1000	1000	1000
	1		人	実績	1039	0	0	0	0
· T		(指標の説明)							
活動		月見会	Į.	目標	1000	1000	1000	1000	1000
割 指	2		八	実績	990	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IXX				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		•	•	•	•	•	

5	. 平原	戊28年度の事務事業実	施概要	: [DO]		※前年度の	取り組みを具体	的に記人(予算	- 事務事業の事	業概要と連動)
				【問合せ先】河	原町	総合支所 地域	振興課 0858-7	76-3111		
				【10次総の施	策体	系】3202				
				【予算計上の紹 予算事業別		目次:当初予算	草・P 2 7 5 ((支所011)		
				域に親しまれ や来場者数の ことで地域の 委託先 厘	、地 減少 活性 (土資	域内外からのタ が見込まれる「 化,まちおこし 産研究会	集客を図り、地 中、行政、地域	≟点、シンボル 対活性化の拠。 なの各種団体と†	点となっている	5。観光客数
	-	事務事業の実施概要	į.	【事業の成果】						
				平成26年 平成27年	.度	1, 420千円	993	開催日 人(5/17~18) 人(5/2~3) 人(5/3~4)	957人	(9/27)
				【今後の課題・ 開催内容等 い、県外から	を再	度検討し、今後	後も一層の充実 こともあり継続	を図る。また、 して実施する。	、鳥取自動車	道の開通に伴
L										
6	. 活重	助指標の達成率 【CHE	ECK]							
			指標名			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
扫	<u>f</u> 1	茶会				104%				
月月	[2	月見会				99%	99%			
<u>بر</u>	3									
_	雪亚石	[CHECK]								
ŕ		<u> 【ONLON</u>		評価内容			評価理由(言	平価の視点を踏	まえて記入)	
	年	度計画の進捗度		計画を上回る 計画どおり		事業を当初計画していた通り実施した。				
計		タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選		事業未完了						
扒	CCIE	・・。 事業の成果	<u> </u>	目標を上回る				成している。月 対したものといえ		少し目標を下
)入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。		目標を下回る			TOTO IT IN EXEM	X0720-2CV 72	V ₀	
0	車型	美の成果を踏まえた今後	έω±ι	う性 【 ^	ı					
r	. 尹 🤊	その成果で暗まんにった	<u> 日</u> 1.			1-1 意図的		□ 4-1 意	図的に縮小	
		A // a - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	■ 2.	改善継続		1-2 制度的		□ 4-2 制度	度的に自然減り	
		今後の方向性	□ 3. □ 4.	現状維持 縮小		2-1 手段等 2-2 効率化		□ 5−1 臨3 □ 5−2 意図	宇実施等、意図 図的に廃止	的に休止
L			□ 5.	休止、廃止、終	7 🗆	2-3 他事業	との統合	□ 5-3 制原	度的に終了	
1		i課長の評価コメント	両イベン がってい	小は、春と秋の地域イ		として定着しており	、特に春の茶会はチ	ャリティ事業として中	V益を日赤等に寄付	し社会貢献につな

 事務事業→ト
 022204
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(あゆ祭)
 所属名
 河原町総合支所 河原町総合支所産業建設課

1	#	+	神	Ŧ	
	共	м	作音	ΨV	

	I . ILI ILIV						
位 総	体系区分	コード		事業区分名称	区分		
位置が変	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興	依拠法市、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目無策	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 あぬ	予算事業名あゆ祭補助金				予算事業コード	01-06-01-03-03-19

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	あゆ祭企画実行委員会
意図 (どのような状態 にするために)	地域住民と行政が連携し、河原町の魅力アップと地域活性化を図る。
手段 (どうするのか)	あゆ祭企画実行委員会に対して、祭の開催に伴う必要経費の補助を行う。

3. 事業の年度	訓計画•美績 【『	PLAN•DO]	
	亚克	728年度	平成29年度

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画		①あゆ祭りの開催 平成29年8月第1週 土曜日	①あゆ祭りの開催 平成30年8月第1週 土曜日	①あゆ祭りの開催 平成31年8月第1週 土曜日	①あゆ祭りの開催 平成32年8月第1週 土曜日
谷	年度	別実績	①あゆ祭りの開催 平成28年8月6日				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	4,926	0	0	0	0
事	直接	経費 A	4,926	0	0	0	0
業	±±±4₽	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	897	0	0	0	0
		一般財源	4,029	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		入込客数	Į.	目標	25000	25000	25000	25000	25000
	1		八	実績	25000	0	0	0	0
ュ		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1234				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

13) ともに地元経済の活性化を図る 下りレース、ステージショー、 開催日 8月2日(土) 8月1日(土)
: ともに地元経済の活性化を図る 下りレース、ステージショー、 開催日 8月2日(土)
: ともに地元経済の活性化を図る 下りレース、ステージショー、 開催日 8月2日(土)
下りレース、ステージショー、 開催日 8月2日(土)
8月2日(土)
8月6日(土)
□している。また地域住民にも好評 、などで事業内容の質の向上を図り
30年度 平成31年度 平成32年度
視点を踏まえて記入)
-1 意図的に縮小
-2 制度的に自然減少 -1 臨年実施等、意図的に休止
ー2 意図的に廃止 ー3 制度的に終了

 事務事業コード
 022205
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(ジゲおこし事業)
 所属名
 用瀬町総合支所
 用瀬町総合支所地域振興課

1	Ħ	-	小主	ᇷ

	- 113 1 IV						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	昭和63年度 ~ 全期	
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまち、	づくり	根拠法令、		
けの	施策	施策 3202 魅力ある中山間地域の振興				依拠法で、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 ジケ	がおこし事業	生費 一			予算事業コード	01-06-01-03-03-24

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	広く一般市民
意図 (どのような状態 にするために)	「流しびなの里もちがせ」としてこれまで以上に内外に広めるとともに、地域コニュニテイを活性化する。
	地域住民、諸団体が中心となって組織するジゲおこし実行委員会に、イベントの開催経費を補助する。

手段 (どうするのか)

3	事業の年度別計画・実績	
Ο.	于未以千及加可图 天限	

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	サネツ:	十尺川川巴				<u> </u>	はっぱって 回流にして
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	麦別計画	①「ジゲおこし事業」 の各種イベント開催業 務補助	①「ジゲおこし事業」 の各種イベント開催業 務補助	①「ジゲおこし事業」 の各種イベント開催業 務補助	の各種イベント開催業	①「ジゲおこし事業」 の各種イベント開催業 務補助
谷	年度	 野実績	①「ジゲおこし事業」 イベント実績 1トレイル交流大会 2川遊びフェスティバ ル(夏・春) 3ふれあいフェスティ バル				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	1,424	0	0	0	0
事		経費 A	1,424	0	0	0	0
業	± + 4∨	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
	1	一般財涯	1 494	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		集客数	Į.	目標	1500	3000	3000	3000	3000	
	1		人	実績	4191	0	0	0	0	
·=		(指標の説明) イベント集客数								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
IX.				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施棚	既安【DO】	※削年度の	収り組みを具体	的に記入(ア昇	事務事業の事	耒慨安と連期)	
	【問合せ先】用瀬町総	総合支所地域扱	長興課 0858-8	7-2111			
	【10次総の施策体系	系】3202					
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次	: 当初予算・F	' 2 6 6 (支所	016)			
【事業の概要】 「流しびなの里用瀬」の観光資源である山、川、街並み及び観光施設を活用したイベに取り組むことで、用瀬地域の活性化と観光資源の掘り起こしを図る。昭和63年度ジゲおこし実行委員会で取り組んでおり、事業支援を行っている。							
【事業の成果】 ジゲおこし実行委員会により、各種イベントの開催を実施。県内外から多くの参加者があり、地域活性化や観光振興を図った。 用瀬山系トレイル交流大会(平成28年4月18日 参加者104人) 夏の川遊びフェスティバル(平成28年7月16日 参加者44人) ふれあいフェスティバル(平成28年8月19日 参加者4,000人) 春の川遊びフェスティバル(平成29年3月18日 参加者43人)							
	【今後の課題・方向性 地域に定着した事業と	-	継続する				
	地域に足相しに事業は) 小伝がに 3 . つ。				
	.1						
6. 活動指標の達成率【CHECK							
指标 集客数	く】 票名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指 ^{集客数} 指 ¹		平成 28年度 279%	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指 指 指 1 標 達 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指 ^{集 客 数} 指 ^{集 客 数}			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指 指 指 注 達 之 成 率			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標 達 2 成率 3 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	評価内容			平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度	
指標 達 2 成率 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	票名 評価内容 1. 計画を上回る					平成32年度	
指標 達 2 成率 3 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ■	評価内容					平成32年度	
指標 達 2 成 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る					平成32年度	
指標	票名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了					平成32年度	
指標	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標だより					平成32年度	
指標	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標を下回る 2. 目標を下回る 2. 可標を下回る	279%	評価理由(診	平価の視点を踏	まえて記入)	平成32年度	
指標	標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標を上のる 3. 目標を下回る 1. 1 拡充		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)		
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	標名 評価内容 1. 計計計 書 表 に いって の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に拡充 に直然増加 の改善	平価の視点を踏 口 4-1 意 口 4-2 制 口 5-1 臨	図的に縮小 変的に自然減少 年実施等、意図	>	
指標	標名 評価内容 1. 計計計 書 表 に いって の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1-1 意図度 1-2 制段 2-1 手效率 2-2 他事	に拡充 (に拡充 (では自改素 (との) になる になり、 になり、 になり、 になり、 になり、 になり、 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。	平価の視点を踏 四 4-1 意に 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意に 日 5-3 制加	変数では、 変数でし、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を	かに休止	

 事務事業コート
 022206
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(用瀬流しびな行事)
 所属名
 用瀬町総合支所
 用瀬町総合支所産業建設課

					-
1	-	Ħ-	•	心王	#6

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	全期
ブロー	政策	02	交流の拠点となるまち・	づくり		根拠法令、	
けの	施策 3202 魅力ある中山間地域の振興					根拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 用液	頼流しびな?	「事(用瀬町産業建設]	果)		予算事業コード	01-06-01-03-01-10

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	流しびな行事
意図 (どのような状態 にするために)	毎年旧暦3月3日に行われる流しびな行事に合わせ、観光イベントを実施することにより、用瀬地域の活性化と 観光振興を図る。
手段 (どうするのか)	地域住民により構成する流しびな実行委員会の行うイベントに補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績	[PLAN·DO]
----------------	-----------

※年度別の取り組みを簡潔に記入

	ナハツ		· 天根 【PLAN·DO】				取り組みを間系に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	別計画	①流しびな実行委員会 への補助 ・流しびな行事(2回)	①流しびな実行委員会 への補助 ・流しびな行事広報宣 伝	①流しびな実行委員会 への補助 ・流しびな行事(1回)	①流しびな実行委員会 への補助 ・流しびな行事(2回)	①流しびな実行委員会 への補助 ・流しびな行事広報宣 伝
	年度	別実績	①流しびな実行委員会 への補助 ・流しびな行事(2回)				
	[区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	3,766	0	0	0	0
事	直接	経費 A	3,766	0	0	0	0
業	古拉尔	国∙県	1,065	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,701	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		入込客数	۱ / Inl	目標	11000	0	5500	11000	0
	1		八/固	実績	15000	0	0	0	0
×		(指標の説明)流しびなに訪れた観光	含数。	基準値に	は平成27年度第	₹績。暦の関係_	上H29年度、H3	2年度は実施な	:L
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
徐				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概	要【DO】	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	耒慨安と建期)		
	【問合せ先】用瀬町紅	総合支所産業殖	き設課 0858-87	7-3786				
	【10次総の施策体系	系】3202						
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P278(支所017)						
	代川に流す情緒豊かれ	毎年旧暦3月3日に無病息災を願って、千代川河原で桟俵に男女一対の紙雛を乗せて千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事と、それに合わせて実施される観光イベントの主催である流しびな実行委員会に対し、行事に要する費用、PRポスター・パンフレット作成等						
事務事業の実施概要	【事業の成果】 ・H26年度 2,1 ・H27年度 2,1 ・H28年度 3,7	33千円 入込 766千円 入込	客数 5,500人 客数 8,500人	(平成28年	4月9日実施分 3月30日実施			
	【今後の課題・方向性 鳥取県を代表する! ることから、今後も9	民俗行事であり			- '	こいると考え		
6 活動化博の達成家【CUECK】								
6. 活動指標の達成率【CHECK】 指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標 指 1 ^{入込客数} 指 1 標 達 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標 指標達 2 成率 3			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標 指標達 2 水率 3 7. 評価【CHECK】	名					平成32年度		
指標 指標達 2 成率 3 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	名 評価内容 1. 計画を上回る			平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度		
指標 指標 達 2 成 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業実績向プロ入力結果を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選	至 評価内容					平成32年度		
指標 指標 達 2 成 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業実績均プの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。」	名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る					平成32年度		
指標達 2 成率 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業実績ゆずの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 「指標タブの入力結果を基に、年度未実績が目」 「日本報報を基に、年度本実績が目して、日本報報報を表に、日本報報報を表に、日本報報報を表に、日本報報報を表に、日本報報報を表に、日本報報報報を表に、日本報報報を表に、日本報報報を表に、日本報報報を表に、日本報報報報を表に、日本報報報報報を表に、日本報報報報を表に、日本報報報報を表に、日本報報報報を表に、日本報報報報を表に、日本報報報報を表に、日本報報報報報報を表に、日本報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了					平成32年度		
指標	名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり					平成32年度		
指標 注 2 成 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績はプラスカ結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 「指標タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。」	名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標を上回る 3. 目標を下回る 5. 向性【ACTION】	136%	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	平成32年度		
指標達 2 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 『事業実績りずの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 「指標プダアの入力結果を基に、年度未実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。 □ 3 8. 事業の成果を踏まえた今後のプロー	名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標を上回る 3. 目標を下回る 5. 目標を下回る	136%	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
指標達 2 成率 3 7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業実績ゆずの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 「指標りずの入力結果を基に、年度未実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。	名 評価内容	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に拡充 に直然増加 の改善	平価の視点を踏 □ 4-1 意 □ 4-2 制 □ 5-1 臨	図的に縮小 (ないでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般			
指標	名 評価内容	136% 1-1 意図度度 1-2 制段率 2-1 劳效率 2-2 他事	に拡射を 証明は に拡射を ででである。 にない。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にい。 にいる。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。	平価の視点を踏 四 4-1 意に 日 4-2 制加 日 5-1 臨4 日 5-2 意に 日 5-3 制加	図的に縮外派 沙田 変的に終了	かに休止		

 事務事業コート
 022207
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(貝がら節まつり)
 所属名
 気高町総合支所
 気高町総合支所地域振興課

1	#	+	性	华	7

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまち	づくり		根拠法令、	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		依拠法で、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
担無の	買い物に不便を感	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数		0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数		1件	30件	運営方法	補助金交付	
•,	也域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 目 2	がら節まつり	補助金			予算事業コード	01-06-01-03-03-26

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	貝がら節まつり実行委員会
意図 (どのような状態 にするために)	「貝がら節のふるさと」をPRし、多くの観光客に訪れていただき交流人口の拡大を図るとともに、地域住民自らが祭りを盛り上げ、地域の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	貝がら節祭りを2日間にわたって開催し、1日目に花火大会や芸能ステージ、2日目にミニコンサートや貝がら 節総踊りを実施する。その開催に必要な経費を補助し支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	争表の:	<u> 平伐別計世</u>	・夫楨 【PLAN・DO】			※ 年度別の	収り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画 内 容		①貝がら節まつりの開 催	①貝がら節まつりの開 催	①貝がら節まつりの開 催	①貝がら節まつりの再 開	①貝がら節まつりの開 催
谷	年度	 野実績	①8月7日に花火大会及び芸能ステージ、8日にミニコンサート及び総踊りを開催。				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	3,977	0	0	0	0
事	直接	経費 A	3,977	0	0	0	0
業	古拉尔	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	952	0	0	0	0
		一般財源	3,025	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		観客数	Į.	目標	7000	7000	7000	7000	7000
活動	1		人	実績	11194	0	0	0	0
		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
ি				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平成28年度の事務事業実施	概要【DO】	※前年度の〕	取り組みを具体	的に記入(予算	軍事務事業の事	(うら) 業概要と連動)		
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	【問合せ先】気高町				7 33 7 514 5 7			
		【10次総の施策体	【10次総の施策体系】3202						
		【予算計上の経過】	予算事業別概	要目次:当初日	予算・P 2 8 2	(支所025)			
		【事業の概要】 気高町を代表する。 もに、交流人口の拡 1日目 船磯海岸で 2日目 貝がら節総	大を図るため、 で花火大会、芸	2日間にわたり 能ステージほ	開催。	ふるさとを広く	(PRするとと		
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 貝がら節総踊り、 平成26年度 延べ 平成27年度 延べ 平成28年度 延べ	参加者 5,750 参加者 6,500)人)人	ージ、船屋台	パレードなどを	ዽ実施		
		【今後の課題・方向 「地域住民のみん や総節踊りの実施方 がある。	なが主役」を念						
6	活動指標の達成率【CHEC	ν1							
Ĺ	指	標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指	観客数 1 1		160%						
標達	2	-							
成 率									
Ľ	3								
7.	評価【CHECK】								
-	評価項目と評価の視点	評価内容] 1. 計画を上回る		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
	年度計画の進捗度	▮ 2. 計画どおり							
計画	≹実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 「が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。]3. 事業未完了]							
	*************************************	■ 1. 目標を上回る 〕 2. 目標どおり							
	割タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。] 3. 目標を下回る							
_]	<u></u>						
8.	事業の成果を踏まえた今後の					- 11			
			1-1 意図的 1-2 制度的		□ 4-1 意 □ 4-2 制	凶的に縮小 度的に自然減少	>		
	今後の方向性] 3. 現状維持 ■	2-1 手段等	の改善	□ 5−1 臨:	年実施等、意図			
] 5. 休止、廃止、終了 口	2-2 効率化 2-3 他事業	との統合	□ 5-2 意 □ 5-3 制	度的に終了			
(「 わ	担当課長の評価コメント よう 今後の方向性」を判断した理由が げ	客数の減少横ばい傾向を打破するたる増加策を講じる必要がある。また、 る増加策を講じる必要がある。また、 てまつりに参加するよう年度当初か がある。	、地域住民自らが「貝	員がら節まつり」を▶	自分たち地域イベン	トとして盛り上げてい	ハくため、地域をあ		

 事務事業コート
 022208
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(気多の市)
 所属名
 気高町総合支所
 気高町総合支所地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	\mathbf{x}	小手	잸	

	- 113 1W						
位総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期	
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまち・	づくり	根拠法令、		
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の	魅力ある中山間地域の振興			
+/-		目標の種別			平成32年度	根拠計画等	
目 無 無	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民に	こよる交流の	件数	1件	30件	運営方法	補助金交付
٥٫	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予質	予算事業名 ふる	ろさと産業す	つり(気多の市)補助金			予算事業コード	01-06-01-02-41-04

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	商工業者を中心とするふるさと産業まつり(気多の市)実行委員会
意図 (どのような状態 にするために)	気高地域の活性化と商工会等の育成発展、空店舗の活用など商店街の再生と活性化を図る。
手段 (どうするのか)	浜村温泉街、ヤサホーパーク(浜村砂丘公園)などを会場に、地元若手商工業者を中心とした実行委員会が、商店会等と連携した企業PR、地域特産品の販売など新しい魅力、活力あるイベントを実施する経費の補助を行う。

(3.	事業の年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
Γ			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
ı			①空き店舗の活用など	①空き店舗の活用など	①空き店舗の活用など	①空き店舗の活用など	①空き店舗の活用など

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①空き店舗の活用などによる商店街の活性化、 、賑わい創出を図るため、開催時期や方法な どイベントの見直しを 図る。	①空き店舗の活用などによる商店街の活性化、 、賑わい創出を図るた 、賑わい創出を図るた め、開催時期や方法な どイベントの見直しを 図る。	どイベントの見直しを	①空き店舗の活用など による商店街の活性化 、賑わい創出を図るた め、開催時期や方法な どイベントの見直しを 図る。	①空き店舗の活用など による商店街の活性化 、賑わい創出を図るた め、開催時期や方法な どイベントの見直しを 図る。
台	年度	E 別実績	①気多の市を「苺フェ スティバル」として開 催。この日だけの限定 いちごスウィーツを販 売。 入込客:約1500人				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	297	0	0	0	0
事	直接	経費 A	297	0	0	0	0
業	±±±4 ∨	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
	I	一	207	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		入込客数	Į.	目標	1500	1500	1500	1500	1500
	1		人	実績	1500	0	0	0	0
ュ		(指標の説明) 入込客数							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
121				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

					取り組みを具体					
			【問合せ先】気高町	J総合支所地域扱	長興課 0857-8	32-0011				
			【10次総の施策体	本系】3202						
			【予算計上の経過】	なし						
			【事業の概要】 補助金名:気多の市 目的:気多の市のま 、空店舗の活用なと 内容:ヤサホーパー を開催。	こを施に要する経費ご商店街の再生を	と図る。					
	<u> </u>	事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成26年度 平成27年度 平成28年度	参加者1500人 参加者1600人 参加者1500人						
			昨年度より地域や	【今後の課題・方向性】 昨年度より地域特産のいちごをテーマに「いちごフェスティバル」として開催しており、地域の賑わいを創出した。定着したイベントなるよう継続した事業開催が求められている。						
6.	活重	助指標の達成率 【CHE	ECK]							
			1K.1m /2							
_			指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標	1		指標名	100%		平成30年度	平成31年度	平成32年度		
標達	1		指標名			平成30年度	平成31年度	平成32年度		
標	2		指標名			平成30年度	平成31年度	平成32年度		
標達成率	3	入込客数	指標名			平成30年度	平成31年度	平成32年度		
標達成率 7.	2 3	入込客数 插【CHECK】						平成32年度		
標達成率 7.	2 3 評価	^{五【CHECK】} 「項目と評価の視点	評価内容 □ 1. 計画を上回る			平成30年度		平成32年度		
標達成率 7.	2 3 評価 年 実績!	A込客数 「CHECK」 「項目と評価の視点 に度計画の進捗度 「ではない。 「はないままれることはない。 「はないままれることはない。 「はないままれることはないまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	評価内容					平成32年度		
標達成率 7.	2 3 評価 年 実績!	五【CHECK】 五項目と評価の視点 で度計画の進捗度 でする人力結果を基に、年度の事業 に、年度の事業 に、年度の事業 に、いました。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了					平成32年度		
標達成率 7.	2 3 評価年 実績3月またくださ	A込客数 「CHECK」 「項目と評価の視点 では、 では、 では、 では、 では、 できずの入力結果を基に、年度の事業 にいる。 「実際になどのような進捗状況かを選い。 事業の成果	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり					平成32年度		
標達成率 7. 事間に 指標	2 3 評価 年 実績3月月までください。	五【CHECK】 五項目と評価の視点 で度計画の進捗度 でする人力結果を基に、年度の事業 に、年度の事業 に、年度の事業 に、いました。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □					平成32年度		
標達成率 7. 事制択 指標	2 3 評価 年 実績! 分月 でき でき でき でき でき かいくださ		評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標をより □ 3. 目標を下回る					平成32年度		
標達成率 7. 事制択 指標	2 3 評価 年 実績! 分月 でき でき でき でき でき かいくださ		評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標がおり □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充	100%	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
標達成率 7. 事制択 指標	2 3 評価 年 実績! 分月 でき でき でき でき でき かいくださ		評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標でおり □ 3. 目標をおいり □ 1. は悪をいり □ 3. 目標をいる □ 3. 目標を示しる □ 3. 目標を示しる □ 4. 拡充 □ 1. ボー	100% 1 1 — 1 意図的 1 1 — 2 制度的 1 2 — 1 手段等 2 — 2 効率化	に拡充 (に拡発増加 ので (でので (で)で (で)で (で)で (で)で (で)で (で)で (平価の視点を踏 コ 4-1 意 ロ 4-2 制	要的に縮小 変的に自然減少 年実施等、意図			
標達成率 7. 事制択 指標	2 3 評価 年 実績! 分月 でき でき でき でき でき かいくださ	五【CHECK】 五項目と評価の視点 定計画の進捗度 である力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況がを選い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度未実績が目 きたかどうかを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標でおり □ 3. 目標をおい回る □ 1. は標をおい回る □ 3. 目標をおい回る □ 3. 目標をいる □ 1. はき継続 □ 1. はき継続 □ 3. 現状・廃止、終了	100% 1 1 - 1 意図的 1 1 - 2 制度的 1 2 - 1 手段等 2 2 - 2 効率化 2 2 - 3 他事業	評価理由(記 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平価の視点を踏 コー4-1 意 コー4-2 制 コー5-1 臨4 コー5-2 意 コー5-3 制	まえて記入) 図的に縮小 縮自然 で 変的に を 変的に 廃止 変的に 終了	かに休止		
標達成率 7. ** * * * * * * * * * * * * * * * * *	2 3 価価 年 績別が 3 単独の 第 単独の 3 単独の 3 単独の 3 単独の 3 単独の 3 単独の 4 単細の 4 単細	五【CHECK】 五項目と評価の視点 定計画の進捗度 である力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況がを選い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度未実績が目 きたかどうかを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標でおり □ 3. 目標をおいり □ 1. は悪をいり □ 3. 目標をいる □ 3. 目標を示しる □ 3. 目標を示しる □ 4. 拡充 □ 1. ボー	100% 1 1 - 1 意図的 1 1 - 2 制度的 1 2 - 1 手段等 2 2 - 2 効率化 2 2 - 3 他事業	評価理由(記 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平価の視点を踏 コー4-1 意 コー4-2 制 コー5-1 臨4 コー5-2 意 コー5-3 制	まえて記入) 図的に縮小 縮自然 で 変的に を 変的に 廃止 変的に 終了	かに休止		

 事務事業コード
 022209
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(睦逢大堤うぐい突き)
 所属名
 気高町総合支所
 気高町総合支所地域振興課

-	 岐	

	1113 116						
位総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期	
づ凹	政策	02	交流の拠点となるまちづくり 魅力ある中山間地域の振興			根拠法令、	
17 O	施策	3202				依拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
担無	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0,	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予質	予算事業名 睦語	条大堤うぐい	マミ補助金(気高町地	城振興課		予算事業コード	01-06-01-03-06-08

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	睦逢大堤うぐい突き保存会
意図 (どのような状態 にするために)	大堤池で400年以上行われている伝統漁法「うぐい突き」を次世代に引き継ぐ。
手段 (どうするのか)	睦逢大堤うぐい突き保存会に対して、鮒の稚魚の放流や、うぐい突きのイベント開催に必要な経費の補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	争表の:	<u> 平伐別計世</u>	・夫楨 【PLAN・DO】			※ 年度別の	<u>収り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E 別計画	①地元の小学生と一緒 に鯉を放流 ②うぐい突き実施	①地元の小学生と一緒 に鯉を放流 ②うぐい突き実施	①地元の小学生と一緒 に鯉を放流 ②うぐい突き実施	①地元の小学生と一緒 に鯉を放流 ②うぐい突き実施	①地元の小学生と一緒 に鯉を放流 ②うぐい突き実施
谷	年度	 野実績	①4月に保存会の会員 と地元の小学生と一緒 に鮒を放流。 ②10月にうぐい突き イベント開催。				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	93	0	0	0	0
事	直接	経費 A	93	0	0	0	0
業	古拉尔	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	93	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		うぐい突き行事の参加者数	Į.	目標	600	600	600	600	600
	1		八	実績	600	0	0	0	0
ᅩ		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1,734				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			·	·			

5.	平成28年度の事務事業実	佈概要【DO】	※前年度の〕	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	(うら) 業概要と連動)
Г	7 77 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	【問合せ先】気高町				7 33 7 210 0	
		【10次総の施策体	系】3202				
		 【予算計上の経過】					
		予算事業別概要目	次:当初予算・]	P282 (支所	026)		
		【事業の概要】	このいかも毎日	L A			
		補助金名:睦逢大場目的:400年以上	:の伝統のある	「うぐい突き」			
		性、地域の伝承行事 内容:大堤池におい	Fと農業の関わり ハて、春に鯉や鮒)などについて 対を放流し、秋	市民の関心を記に「うぐい突	高め、次世代に き」と呼ばれる	C継承する。 S漁法で魚を
		捕獲する。 【事業の成果】					
	事務事業の実施概要	稚魚放流(4月)鯉			学校児童参加)		
	. ,, . ,	平成26年度 参	∜加者300人	,			
		平成27年度 参 平成28年度 参					
		【今後の課題・方向					
		保存会の会員の拡 ントを盛り上げ、よ					
6	注動化博の達成変 【CUE	ick]					
6.		ECK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	うぐい突き行事の参加者数		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達	うぐい突き行事の参加者数			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成	1 うぐい突き行事の参加者数 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達	うぐい突き行事の参加者数			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】	指標名					平成32年度
指標達成率	1 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点				平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度
指標達成率 7.	1 2 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり					平成32年度
指標達成率 7.	1 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る					平成32年度
指標達成率 7.	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ま検討する人力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る					平成32年度
指標達成率 7. 事画儿 指	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3	指標名 評価内容					平成32年度
指標達成率 7. 事画儿 指	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 即ダブの入力結果を基に、年度末実績が目	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり					平成32年度
指標達成率 7 事制 指標 情報 表	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 即ダブの入力結果を基に、年度末実績が目	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標をより □ 3. 目標をの方向性【ACTION】	100%	評価理由(言	平価の視点を踏	まえて記入)	平成32年度
指標達成率 7 事制 指標 情報 表	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 取りずの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標をおり □ 3. 目標を下回る □ 1. は変を下回る □ 1. 拡充		評価理由(言	平価の視点を踏	まえて記入)	
指標達成率 7 事制 指標 情報 表	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 取りずの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	100% 1 1 − 1 意図的 1 1 − 2 制度的 1 2 − 1 手段等	に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 □ 4-1 意 □ 4-2 制 □ 5-1 臨	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図	\
指標達成率 7 事制 指標 情報 表	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績はアプの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 即プの入力結果を基に、年度末実績が目達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	指標名 評価内容	100% 100% 1 1-1 意図的 1 1-2 制度等 2-1 手段等 1 2-2 効率化 2-3 他事業	に拡充 (に放発増加の の簡素化 との統合	平価の視点を踏 四 4-1 意間 日 4-2 制服 日 5-1 臨4 日 5-2 意間 日 5-3 制服	図的に縮小、 を で記入) で記入) で記入) に自然減少 で変数に で記入)	かに休止
指標達成率 7. 事画U. 指標 8.	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 引タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性 担当課長の評価コメント	指標名 評価内容	100% 100% 1 1-1 意図的 1 1-2 制度等 2-1 手段等 1 2-2 効率化 2-3 他事業	に拡充 (に放発増加の の簡素化 との統合	平価の視点を踏 四 4-1 意間 日 4-2 制服 日 5-1 臨4 日 5-2 意間 日 5-3 制服	図的に縮小、 を で記入) で記入) で記入) に自然減少 で変数に で記入)	かに休止
指標達成率 7. shift 指標 8. (「わ	1 うぐい突き行事の参加者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべざさい。 事業の成果 10 タブの入力結果を基に、年度末実績が目達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果 10 タブの入力結果を基に、年度末実績が目達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	100% 100% 1 1-1 意図的 1 1-2 制度等 2-1 手段等 1 2-2 効率化 2-3 他事業	に拡充 (に放発増加の の簡素化 との統合	平価の視点を踏 四 4-1 意間 日 4-2 制服 日 5-1 臨4 日 5-2 意間 日 5-3 制服	図的に縮小、 を で記入) で記入) で記入) に自然減少 で変数に で記入)	かに休止

事務事業→ 022210 重点施策 該当なし 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 地域振興イベント支援事業(貝がら節の郷づくり) 所属名 気高町総合支所 気高町総合支所地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	\mathbf{x}	小手	잸	

	- 113 1W						
位総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成22年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまち・	交流の拠点となるまちづくり			
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		根拠法令、 根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目 無 無	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数		1件	30件	運営方法	補助金交付	
٥٫	地域課題の解決に	也域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			270人	会計区分	一般会計
予質	予算事業名 目 /	がら節の郷~	づくり協議会補助金			予算事業コード	01-06-01-03-06-25

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画 内 容			① 「貝がら節」など の地域資源を活用した イベントの開催	①「貝がら飾」など の地域資源を活用した イベントの開催	① 「貝がら節」など の地域資源を活用した イベントの開催	① 「貝がら節」など の地域資源を活用した イベントの開催
谷	年度	 医別実績	①イベント開催 ・ときめきまつり ・しょうがぽかぽかフ ェスタ ・浜村温泉映画祭				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	2,368	0	0	0	0
事	直接	経費 A	2,368	0	0	0	0
業	古拉尔	国∙県	670	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,698	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		入込客	Y	目標	4167	4167	4167	4167	4167
	1			実績	4167	0	0	0	0
ут.		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IVA				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		•	•	•	•	•	

5. 平成28年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的I 【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82	に記入(予算事務事業の事業概要と連動)							
	2-0011							
【10次総の施策体系】3202								
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P283(支所0	27)							
	民謡「貝がら節」と地元特産物の「しょうが」・「温泉」をキーワードに、「浜村温泉 映画祭」と「しょうがぽかぽかフェスタ」を開催し、観光客の誘致を促進し、交流人口を							
【事業の成果】 「気高ときめきまつり」「しょうがぽかぽかフェス	【事業の成果】 「気高ときめきまつり」「しょうがぽかぽかフェスタ2017」「浜村温泉映画祭」を開催							
事務事業の実施概要 《誘致客数(延べ)》 平成25年度 1,598千円 参加者1,000人 平成26年度 1,518千円 参加者3,000人 平成27年度 1,518千円 参加者3,700人 平成28年度 2,368千円 参加者4,167人	平成25年度 1,598千円 参加者1,000人 平成26年度 1,518千円 参加者3,000人 平成27年度 1,518千円 参加者3,700人							
【今後の課題・方向性】 「貝がら節」によりこだわったイベントを実施し、 り上げていく。	「貝がら節」によりこだわったイベントを実施し、貝がら節の郷をPRし、一層活動を盛							
6. 活動指標の達成率【CHECK】								
指標名 平成28年度 平成29年度 平	平成30年度 平成31年度 平成32年度							
指 1 入込客 100%								
達 2								
成								
7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 評価内容 評価理由(評価	「の視点を踏まえて記入)							
年度計画の推携度 □ 1. 計画を上回る								
・								
事業の成果 □ 1.目標を上回る								
■ 2. 目標どおり [指標/タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。								
8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】	4							
	4-1 意図的に縮小 4-2 制度的に自然減少							
	5-1 臨年実施等、意図的に休止 5-2 意図的に廃止							
	5-3 制度的に終了							
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)								

 事務事業コート
 022211
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(わったいな祭)
 所属名
 鹿野町総合支所
 鹿野町総合支所地域振興課

1	Ħ	-	小主	ᇷ

	T I I I I I						
位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	交流の拠点となるまち	交流の拠点となるまちづくり			
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目 無 無	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	まちとむらの住民による交流の件数		1件	30件	運営方法	直営	
•,	也域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 わっ	ったいな祭事	事業費			予算事業コード	01-06-01-03-03-27

2. 事業目的	[PLAN]
	市民等を対象に秋のイベントを開催。
対象 (何を、誰を)	

意図 (どのような状態 にするために)

地域活性化をめざして、住民と各種団体、行政が連携してイベントを開催し、鹿野地域の魅力アップと交流人口の増加を図る。

実行委員会を住民と各種団体、行政とで組織して、イベントの企画と運営を行う。

手段 (どうするのか)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>3.</u>	事業の2	牛度別計画	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	<u>取り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内灾	年度別計画 内 容		鳥の劇場・こすもす回 廊の5会場でそれぞれ	①街なみ会場・トレー ニングセンター(中央 公民館)・河川公園・ 島の脚・ニオもす回 廊の5会場でそれぞれ 特徴あるイベントを行 う。	①街なみ会場・トレーニングセンター(中央公民館)・河川公園・島の劇場・ごすもす回廊の5会場でそれぞれ特徴あるイベントを行う。	①街なみ会場・トレー ニング・センター(中央 公民館)・河川公園・ 島の劇場・こすもす回 廊の5会場でそれぞれ 特徴あるイベントを行 う。	①街なみ会場・トレー ニングせんたー(中央 公民館)・河川公園・ 島の劇場・こすもす回 廊の5会場でそれぞれ 特徴あるイベントを行 う。
谷	年度	E別実 績	①5会場でそれぞれ特 徴あるイベントを行う 予定であったが、前日 発生した中部地震の影 響により住民、来訪者 の安全を考慮して、や むなく中止した。				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	1,896	0	0	0	0
事	直接	経費 A	1,896	0	0	0	0
業	古拉奴	国•県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,896	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		集客人数	Į.	目標	15000	15000	15000	15000	15000
	1			実績	0	0	0	0	0
ᅩ		(指標の説明) 交流人口の増加を図る)。						
活動指		参加団体数	団体	目標	40	40	40	40	40
	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明) イベントへの協力参加	団体の均	曽加					
IVA		イベントの協力参加人数	Y	目標	150	150	150	150	150
	3		八	実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明) イベントの参加人数	•	•		•		•	·

5.	平原	成28年度の事務事業実	施概要	[DO]	※前年度の	取り組みを具体	:的に記入(予算	事務事業の事	(うら) 業概要と連動)	
Ť	1	NEC 120			鹿野町総合支所				N 1712	
				【第9次総の施策体	本系】3202					
				【予算上の経過】 予算事業別概要	[目次:当初予算Ⅰ	P 2 8 4 (支所	030)			
			ſi	【事業の概要】 地域活性化を目 催。賑わいを創出 経済の活性化を図						
	事務事業の実施概要			【事業の成果】 10月22・23日に、街なみ、中央公民館、河川公園、鳥の劇場、こすもす回廊の5会場で、それぞれの特徴を踏まえたイベントを実施する予定であったが、前日の地震の影響や住民・来場者の安全を考慮し、やむを得ず中止とした。 H28年度 来場者:0人/事業費:2,771千円(10/21鳥取中部地震の影響により中止) H27年度/来場者:14,600人/事業費/2,541千円 H26年度/来場者:14,000人/事業費/2,721千円 H25年度/来場者:690人/事業費/1,114千円(台風の影響により中央公民館会場のみ開催)						
				【今後の課題・方 新たなイベント	「向性】 を企画するなど、	交流人口増加	へ向けた工夫;	が必要である。		
_										
6.	活重	b指標の達成率 【CHE	ECK]							
6.	活重		ECK】 指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標	1				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達成	1 2	集客人数 参加団体数			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達	1 2	集客人数			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達成率	2	集客人数参加団体数イベントの協力参加人数			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達成率 7.	1 2 3	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 置【CHECK】		評価内容	平成28年度				平成32年度	
指標達成率 7.	1 2 3 評価	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 面【CHECK】	指標名	評価内容 計画を上回る	10/22、23に開	評価理由 (記 催を予定してい	平価の視点を踏 たが、10/21発	まえて記入) 生した中部地震		
	1 2 3 評価 年 実績:	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 置【CHECK】	1.言 2.言 □ 3. 즉		10/22、23に開	評価理由 (記 催を予定してい	平価の視点を踏	まえて記入) 生した中部地震		
指標達成率 7.	1 2 3 評価 年 実績:	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選	□ 1. 言□ 3. □	計画を上回る 計画どおり 事業未完了	10/22、23に開り、住民・来場2	評価理由(記 催を予定してい 者の安全を考慮	平価の視点を踏 たが、10/21発 してやむを得す	まえて記入) 生した中部地震 [*] 中止した。	その影響によ	
指標達成率 7. 事間に 事間に	1 2 3 評価 年 実績/3月月 ださ	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 「CHECK」 「項目と評価の視点 では計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果	11.言言□□1.目□2.目□2.目□2.目□2.目□2.目□2.目□2.目□2.目□2.目□2	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標どおり	10/22、23に開り、住民・来場に10/21発生した	評価理由(記 催を予定してい 者の安全を考慮	平価の視点を踏 たが、10/21発 してやむを得す	まえて記入) 生した中部地震 [*] 中止した。	その影響によ	
指標達成率 7. 事間に 指標	1 2 3 評価 年 実績/3月3700 (ださ)	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選	指標名	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る	10/22、23に開り、住民・来場に10/21発生した	評価理由(記 催を予定してい 者の安全を考慮 中部地震の影響	平価の視点を踏 たが、10/21発 してやむを得す	まえて記入) 生した中部地震 [*] 中止した。	その影響によ	
指標達成率 7. 事簡UT 指標を計場	1 2 3 評価 年 第 3 第 3 第 3 第 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 にい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	11. 言□□ 1. 目□□ 3. 目□□□ 3. 目□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標どおり 目標を下回る	10/22、23に開り、住民・来場に10/21発生した	評価理由(記 催を予定してい 者の安全を考慮 中部地震の影響	平価の視点を踏 たが、10/21発 してやむを得す	まえて記入) 生した中部地震 [*] 中止した。	その影響によ	
指標達成率 7. 事簡UT 指標を計場	1 2 3 評価 年 第 3 第 3 第 3 第 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目	指標名 1. 言言 □ 3. 目 □ 3. 目 □ 3. 目 □ 5. 目 □ 5. 目 □ 7. □ 7. □ □ 7. □ 7. □ □ 7. □ 7. □ □ 7. □ 7.	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標どおり 目標を下回る	10/22、23に開り、住民・来場に り、住民・来場に 10/21発生した を得ず中止した	評価理由(記 催を予定してい 者の安全を考慮 中部地震の影響 たため、目標を「	平価の視点を踏ったが、10/21発にしてやむを得す 響により、住民・ 下回った。	まえて記入) 生した中部地震 ・中止した。 来場者の安全を	その影響によ	
指標達成率 7. 事簡UT 指標を計場	1 2 3 評価 年 第 3 第 3 第 3 第 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 にい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名 1.言 2.言 3.言 3.言 0.方向 1.打	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標どおり 目標を下回る	10/22、23に開り、住民・来場に10/21発生した	評価理由(記権を予定している) では、 を予定している。 を予定している。 を予定している。 を予定している。 である。 である。 である。 にため、目標を同じる。 にため、目標を同じる。	平価の視点を踏 かたが、10/21発にしてやむを得す 響により、住民・ 下回った。	まえて記入) 生した中部地震 ・中止した。 来場者の安全を	そ考慮してやむ で考慮してやむ	
指標達成率 7. 事簡UT 指標を計場	1 2 3 評価 年 第 3 第 3 第 3 第 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	集客人数 参加団体数 イベントの協力参加人数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 にい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名 1. a 3. a 5	計画を上回る 計画とおり 事業未完了 目標を上回る 目標を下回る 目標を下のる 性【ACTION】 拡充 機続 現状維持	10/22、23に開 り、住民・来場 10/21発生した を得ず中止しが □ 1-1 意図的 □ 1-2 制度的 ■ 2-1 手段等	評価理由(記 催を予定してい 者の安全を考慮 中部地震の影響 たため、目標をご に拡充 には然増加 の改善	平価の視点を踏 たが、10/21発 にしてやむを得す 響により、住民・ 下回った。 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制 ロ 5-1 臨	まえて記入) 生した中部地震 中止した。 来場者の安全を 図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図	の影響によ	
指標達成率 7. 事簡UT 指標を計場	1 2 3 評価 年 第 3 第 3 第 3 第 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	集客人数 参加団体数 「イベントの協力参加人数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名	計画を上回る 計画を上のも 計画とおり 目標をといり 目標をといり 目標を 性【ACTION】 放き 説性 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	10/22、23に開 り、住民・来場 10/21発生した を得ず中止した 1 1-1 意図的 □ 1-2 制度的	評価理由(記権を予定している) 一本を子をを考慮を 中部地震の影響を では拡充。 には、 に自然増加 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	平価の視点を踏 たが、10/21発 してやむを得す 響により、住民・ 下回った。	まえて記入) 生した中部地震 中止した。 来場者の安全を 図的に自然減少 軍実施等、意図 図的に廃止	の影響によ	

 事務事業コード
 022212
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(鹿野桜まつり花火大会)
 所属名
 鹿野町総合支所
 鹿野町総合支所地域振興課

1	#	+	神	Ŧ	
	共	м	作音	ΨV	

	LIIJ IW						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期	
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまち・	づくり	根拠法令、		
けめ	施策	3202	魅力ある中山間地域の	並力ある中山間地域の振興			
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	根拠計画等	
目施	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民に	こよる交流の	件数	1件	30件	運営方法	補助金交付
0,	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 観光	光イベント開	催補助金(鹿野桜まつ	り花火大会)		予算事業コード	01-06-01-03-06-29

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	鹿野桜まつり実行委員会が一般市民を対象として春の鹿野祭りの時期に花火大会を実施する。
意図 (どのような状態 にするために)	花火大会を実施することで鹿野の魅力アップを図り、観光振興による地域活性化に繋げる。
手段 (どうするのか)	隔年開催の鹿野祭り(宵祭り)に併せ、花火大会を実施する。実施主体は鹿野桜祭り実行委員会。消防団や交通 指導員をはじめ多数ボランティアと連携して実施。

3	3. 事業の年度別計画	Ī•実績【PLAN•DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①桜祭り花火大会の開		①桜祭り花火大会の開		①桜祭り花火大会の開
		催を支援。		催を支援。		催を支援。
	在度別計画					

	年度	E別計画					
内容							
			①桜祭り花火大会を開催を支援した。				
	年度	医別実績					
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業領	貴(A+B)	910	0	0	0	0
事	直接	経費 A	910	0	0	0	0
業費	:	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

910

一般財源

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		集客人数	Y	目標	7000	0	0	0	0
	1		人	実績	8000	0	0	0	0
ᅩ		(指標の説明) 観覧者の増加を図る。							
活動		ボランティア参加人数	Y	目標	25	0	0	0	0
動 指	2		人	実績	29	0	0	0	0
標		(指標の説明) イベントへの協力参加	者・						
1,534				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平成28年度の事務事業実		※削年度の	M 7 12 17 C 74 11	H 31 - HO 7 1 () 71	, ,,, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
		【問い合わせ】 鹿	野町総合支所	地域振興課	(0857-84-201)	1)	
		【第10次総の施策体	系】 3202				
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算 F	?285(支所	0 3 1)		
		【事業の概要】 鹿野城跡公園の桜 会を支援するととも					こして花火大
【事業の成果】 鹿野城跡公園の桜 ップづくりにつなが			月/8500人				
		性】 知度が低く他ィ	'ベント共同し	て広くPRし	ていくことを格	針していく	
		0			7,2,1,1	, , , , , ,	
		_					
c	活動指標の達成率 【CHE	ECK1					
0.			平成28年度	平成20年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	集客人数	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標	集客人数 1 ボランティア参加人数		114%		平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成	集客人数 1 ボランティア参加人数 2				平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達	1 集客人数 ボランティア参加人数		114%		平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	集客人数 1 ボランティア参加人数 2		114%		平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	集客人数 1 ボランティア参加人数 2 3	指標名 評価内容	114%	116%	平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度
指標達成率	1 集客人数 2 ボランティア参加人数 3 評価【CHECK】	指標名	114%	116%			平成32年度
指標達成率 7. 事	集客人数 1 ボランティア参加人数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績 タブの入力結果を基に、年度の事業 1が3月末時点でどのような進捗状況かを選	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	114%	116%			平成32年度
指標達成率 7. 事	# 本名人数 1 ボランティア参加人数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 # 実頼]タブの入力結果を基に、年度の事業	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □	114% 116% 予定通り事業を	116%	平価の視点を踏		平成32年度
指標達成率 7. 事語以 唯	集客人数 1 ボランティア参加人数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績 タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	114% 116% 予定通り事業を	116% 評価理由(記 主実施した。	平価の視点を踏		平成32年度
指標達成率 7. 事語以 唯	集客人数 2 ボランティア参加人数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 *実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選てください。 事業の成果 割タブの入力結果を基に、年度末実績が目	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり	114% 116% 予定通り事業を	116% 評価理由(記 主実施した。	平価の視点を踏		平成32年度
指標達成率 7. 事証別 階標	集客人数 2 ボランティア参加人数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 *実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選てください。 事業の成果 割タブの入力結果を基に、年度末実績が目	指標名 評価内容	114% 116% 予定通り事業を 大会中、事故も	評価理由(記 主実施した。 かなく無事に実施	平価の視点を踏	まえて記入)	平成32年度
指標達成率 7. 事証別 階標	集客人数 1 ボランティア参加人数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績 タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 剽タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	114% 116% 予定通り事業を 大会中、事故も 1-1 意図的	116% 評価理由(記と実施した。	平価の視点を踏 値できた。 ロ 4-1 意	まえて記入)	
指標達成率 7. 事証別 階標	集客人数 1 ボランティア参加人数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績 タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 剽タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	114% 116% 予定通り事業を 大会中、事故を 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	116% 評価理由(記述実施した。 かなく無事に実施 に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 値できた。 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制 ロ 5-1 臨 ⁴	まえて記入) 図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図	
指標達成率 7. 事証別 階標	#客人数 1	指標名 評価内容	114% 116% 予定通り事業を 大会中、事故を 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化	116% 評価理由(記述実施した。 かなく無事に実施 に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化	平価の視点を踏 値できた。 □ 4-1 意 □ 4-2 制	図的に縮小 (を を で 記 の に 自 然 減 り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	

事務事業→・ 022213 **重点施策** 該当なし 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 地域振興イベント支援事業(青谷地域にぎわい創出) 所属名 青谷町総合支所 青谷町総合支所地域振興課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	\mathbf{x}	小手	잸	

	- 113 1W						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期	
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまち、	づくり	根拠法令、		
けめ	施策	3202	魅力ある中山間地域の	並力ある中山間地域の振興		依拠法で、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施	買い物に不便を感	じている無	店舗地区の解消数	0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民に	まちとむらの住民による交流の件数			30件	運営方法	補助金交付
0,	地域課題の解決に	取り組むり	ーダーの認定者数	199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 青名	谷地域にぎ	わい創出事業補助金			予算事業コード	01-06-01-03-03-28

2. 事業目的【PLAN】

2. 事未口的	V. — (17)
対象 (何を、誰を)	青谷地域にぎわい創出実行委員会
	青谷に豊富にある地域資源や青谷の魅力を内外に発信するために、因州和紙活性化のさらなる強化を目指した「青谷因州和紙産地強化事業」とまちなかへの賑わいの誘導を目的とした「青谷ようこそ市場(通称:あおいち) 事業」の2事業を実施する。
手段 (どうするのか)	その活動のための必要な経費を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入 ※年度別の取り組みを簡潔に記入 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	5別計画	①青谷地域にぎわい創 出事業	青谷地域にぎわい創出 事業			
	年度	別実績	①因州和紙産地強化事業と青谷ようこそ市場 事業を実施				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	3,016	0	0	0	0
事	直接	経費 A	3,016	0	0	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	1,365	0	0	0	0
		一般財源	1,651	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		因州和紙フェスタ来場者数	Y	目標	800	0	0	0	0
	1		八	実績	1000	0	0	0	0
ът.		(指標の説明) 因州和紙フェスタ来場	者数						
活 動		あおいち来場者数	点	目標	2500	0	0	0	0
指	2			実績	2500	0	0	0	0
標		(指標の説明) 年間のあおいち来場者							
IVA				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平成28年度の事務事業実施	Θ概要 【DO】	※前年度の耳	取り組みを具体	的に記人(予算	-事務事業の事	業概要と<u></u>理動)	
		【問合せ先】 地域	战振興課 0857-8					
		【10次総の施策体	≤系】3202					
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P(支所 0 3	7)			
		【事業の概要】 補助金名:青谷地 目的及び内容: 強化事業とまちなか 補助対象者:青谷	「青谷地域にぎわ ゝの賑わいを目的	い創出事業」 」とした定期開	催イベントに		州和紙の産地	
	事務事業の実施概要		1 「青谷因州和紙産地強化事業」:因州和紙フォーラム、因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭を含め、和紙の里ひおきの活性化を図るとともに、後継者育成や伝統技術の継承を					
		生み出される豊富 を販売PRした。6, 事業場所:青谷	古場(通称:あるな産物を活用しまな産物を活用し 月~11月の期間・ いた場(青いな場(青いで生産、加	、農協、漁協 中5回開催し、 F谷ようこそ館	、町内業者なる 延べ2500名の9 前)、夏泊漁科	どと連携し、† 集客があった。 巻	青谷の特産物	
		るス	マージ発表等 エ鳥取環境大学生				上丁 4 10 9	
		【今後の課題・方向		.00, -, -	/ `	U 191 / L TK H A		
		因州和紙の産地と 駅前周辺のまちなか	:しての強化・伝				中心部である	
		W(114).4.2 1 3 3 3 1	/4/21-0-0//	Malay 1279-1.		,		
		-						
6.	活動指標の達成率【CHE®		□ 亚弗尔克 在 亩 □	立世00年度	亚世20年度	立式 4.01 在 度	「東世の左座	
	力 因州和紙フェスタ来場者数	CK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標	財		125%		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達成	ま 日本			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達	まります。		125%		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達成率 7.	1 1 2 3 評価【CHECK】		125%		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達成率 7.	1 B州和紙フェスタ来場者数 2 あおいち来場者数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	指標名 評価内容	125%	100%	平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度	
指標達成率 7.	1 BM和紙フェスタ来場者数 2 あおいち来場者数 3 評価【CHECK】評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	125%	100%			平成32年度	
指標達成率 7.	1	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	125%	100%			平成32年度	
指標達成率 7. 事調	1	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る	125%	100%			平成32年度	
指標達成率 7. 事画に 構	1 因州和紙フェスタ来場者数 2 あおいち来場者数 2 あおいち来場者数 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くください。 事業の成果 即分の入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る	125%	100%			平成32年度	
指標達成率 7. 事間 M	1 因州和紙フェスタ来場者数 2 あおいち来場者数 2 のおいち来場者数 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 即分の入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	125%	100%			平成32年度	
指標達成率 7. 事間 M	1 四州和紙フェスタ来場者数 2 あおいち来場者数 2 あおいち来場者数 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が日来時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 目分づの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ ■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標をより □ 3. 目標を下回る □ 1. 目標を下回る □ 1. 目標を下回る	125%	100%	平価の視点を踏	まえて記入)	平成32年度	
指標達成率 7. 事間 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	1 四州和紙フェスタ来場者数 2 あおいち来場者数 2 あおいち来場者数 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績プラスカ結果を基に、年度の事業 が日末時点でどのような進捗状況かを選 でください。 事業の成果 10プの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容	125% 100% 1 1 — 1 意図的 1 1 — 2 制度的	100% 評価理由(記 に拡充 に自然増加	平価の視点を踏 口 4-1 意 口 4-2 制	まえて記入)	>	
指標達成率 7. 事調U. 指標	1 四州和紙フェスタ来場者数 2 あおいち来場者数 2 あおいち来場者数 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 かり月末時点でどのような進捗状況かを選 (ぐださい。 事業の成果 記タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	指標名 評価内容	125% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 10	100% 評価理由(評 に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 口 4-1 意 口 4-2 制	まえて記入) 図的に縮小 はのに自然減少 手実施等、意図	>	
指標達成率 7. 事調U. 指標	1 四州和紙フェスタ来場者数 2 あおいち来場者数 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 がり月末時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 日ダブの入力結果を基に、年度不実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	指標名 評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画とお完了 ■ 1. 目標を上回る 2. 目標をおい回る 3. 目標を形回る 1. 目標を L回る 2. 目標を	125% 100% 100% 1 1 - 1 意図的 1 1 - 2 制度的 2 - 1 手段等 3 2 - 2 効率化 3 2 - 3 他事業	に拡充 に拡充 に自然増加 の簡素化 との統合	平価の視点を踏 日 4-1 意図 日 4-2 制度 日 5-1 臨年 日 5-2 意図 日 5-3 制度	まえで記入) 図的に部 縮自然、意 ののに を 変 ののに の の に の を の の に の を の を の の の の の の	かに休止	

 事務事業コート
 022214
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(青谷地域観光イベント)
 所属名
 青谷町総合支所
 青谷町総合支所地域振興課

1	Ħ	-	小主	ᇷ

	- 113 1W						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	ı		事業期間	全期
位置づけ	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
けめ	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		依拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目施	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 観分	化イベント開	催補助金(観光キャンペ	ペーン事業分)		予算事業コード	01-06-01-03-06-20

2. 事業目的	[PLAN]
---------	--------

対象 (何を、誰を)	1 西いなば観光キャンペーン事業補助金(西いなば再発見フォトコンテスト) 補助対象:鳥取市西商工会青年部 2 青谷地域「魅力・輝き発掘」公募事業補助金 補助対象:Iloveあおや37メンバーズ、青谷町ガイドネットワーク
意図 (どのような状態 にするために)	1 西いなば再発見フォトコンテスト:西いなば(鳥取市西地域)の地域資源の再発見とその資源を捉えた写真を地域内外から募集しコンテストを開催することで、地域の活性化、観光振興を図ることを目的とする。 2 青谷地域「魅力・輝き発掘」公募事業:青谷地域の観光資源、風土資産、特産品等を活用し、それらのPRと観光人口、交流人口の拡大を目的とする。
手段 (どうするのか)	その活動のための必要な経費を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	 西いなば観光キャンペーン事業(西いなば再発見フォトコンテスト)計画 青谷地域「魅力・輝き発掘」公募事業計画 				
谷	年度別実績		① 西いなば観光キャンペーン事業(西いなば再発見フォトコンテスト)実施 ② 青谷地域「魅力・輝き発掘」公募事業実施:2団体に交付				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	756	0	0	0	0
事	直接	経費 A	756	0	0	0	0
業	古拉奴	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	756	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		西いなば再発見フォトコンテスト応募点数	点	目標	100	0	0	0	0
	1			実績	52	0	0	0	0
,т		(指標の説明) 西いなば再発見フォト	コンテス	トに応募	いた写真点数				
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IVA				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		•	•	•	•		

5.	平成28年度の事務事業実施概要	ł [DO]	※削年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	上事務事業の事	業概要と連動)	
		【問合せ先】地域振り	興課 0857-85-6	0011				
		【10次総の施策体系	系】3202					
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次: 当初予算 •	P(支所03	8)			
	事務事業の実施概要	【事業の概要】 1 補助金名:西いなば観光キャンペーン事業補助金(西いなば再発見フォトコンテスト)目的及び内容: 西いなば(鳥取市西地域)の地域資源の再発見とその資源を捉えた写真を地域内外から募集しフォトコンテストを開催することで、地域の活性化、観光振興を図ることを目的とする。補助対象者:鳥取市西商工会青年部 2 補助金名:青谷地域「魅力・輝き発掘」公募事業補助金目的及び内容:青谷地域の観光資源、風土資産、特産品等を活用し、それらのPRと観光人口、交流人口の拡大を目的とする。補助対象者: I loveあおや37メンバーズ、青谷町ガイドネットワーク						
		の応募があり、審査、 ェスタ(気高町)で 健康館けたか(気高町 2 Iloveあおや37; 内外の主要施設に掲 イドネットワークは、	【事業の成果】 1 西いなば再発見フォトコンテストに西地域の観光スポット、風景、人物等を捉えた写真52点の応募があり、審査、表彰した。また、あおや和紙工房(青谷町)としょうがぽかぽかフェスタ(気高町)で入選作品の展示をした。また、デジカメ教室を12月4日にゆうゆう健康館けたか(気高町)で開催し、34人の参加があった。決算額 479千円2 Iloveあおや37メンバーズは、A1判の青谷町観光マップ30枚を作成し、青谷地域内外の主要施設に掲示して観光客へのサービス向上、周遊拡大を図った。また、青谷町ガイドネットワークは、「青谷地域魅力・輝き発見発掘ツアー」を11月27日に青谷町内で実施し、地域の歴史文化を探訪した。参加16人。決算額 277千円					
		【今後の課題・方向性 今後も同様の補助 光振興を図る。		地域資源の活	州と地域の活	性化、交流人口	コの増加、観	
6	活動指標の達成率【CHECK】							
<u> </u>	指標名	1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指			52%					
標達	2							
成 率	3							
_	-T/T FOUROUS						l.	
	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	評価内容		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)		
	生食計冊(/)・作物性	計画を上回る						
計画		計画どおり 事業未完了						
1/10	事業の成果 □ 1	目標を上回る						
		目標を下回る						
	事業の成果を踏まえた今後の方	向性 【ACTION】						
Ĭ.		拡充 □	1-1 意図的		□ 4-1 意			
			1-2 制度的 2-1 手段等			度的に自然減少 年実施等、意図		
	□ 4	縮小	2-2 効率化 2-3 他事業	、簡素化	□ 5 - 2 意[□ 5 - 3 制]	図的に廃止	# 21 € kl-TT	
	40 以 = 関	- ↑^ 止、発 止、終 」 □ 雪いなば観光キャンペーン事業 と 妊振興を図る。					化、交流人口の増	
(「± わ;	カース コー は カー カー カー カー カー カー カー カー ク	⊔ አር ት የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ						

 事務事業コード
 022215
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域振興イベント支援事業(青谷ようこそ夏まつり)
 所属名
 青谷町総合支所 青谷町総合支所産業建設課

					-
1	-	Ħ-	•	心王	#6

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づ総合計画	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち			事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり			根拠法令、	
けの	施策	3202	魅力ある中山間地域の)振興		根拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施	買い物に不便を感じている無店舗地区の解消数			0地区	5地区	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	まちとむらの住民による交流の件数			1件	30件	運営方法	補助金交付
0,	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数			199人	270人	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 青海	谷ようこそ夏	まつり事業費			予算事業コード	01-06-01-03-03-30

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	鳥取市西商工会
意図 (どのような状態 にするために)	観光振興及び商業振興を図ることを目的とする。また、交流人口の増加に努める。
手段 (どうするのか)	青谷ようこそ夏まつりに必要な経費を補助する。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画		①青谷ようこそ夏まつ り補助	①青谷ようこそ夏まつ り補助	①青谷ようこそ夏まつ り補助		①青谷ようこそ夏まつり補助
台	年度	 野実績	①青谷ようこそ夏まつ り補助金交付 ・若手中心の実行委員 会整備 ・新規企画の実施				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	1,000	0	0	0	0
事	直接	経費 A	1,000	0	0	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,000	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		集客数	Y	目標	3000	3000	3000	3000	3000	
	1	人		実績	3000	0	0	0	0	
ут.		(指標の説明) 青谷ようこそ夏まつり集客数								
活動				目標	0	0	0	0	0	
指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
1,734				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5.	平月	艾28年度の事務事業実 類	施概要	· [DO]		※前年度の	取り組みを具体	な的に記入(予算	事務事業の事	(うら) 業概要と連動)	
Ė		VEC 1 200 1 200 1			上】青谷町	総合支所産業			Tam gee a land	Pro	
			ļ	【10次総の施策体系】3202							
				【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P245(支所039)							
				【事業の概要】 28年度で19回目の開催となる夏のイベント「あおや夏まつり」の事業実施に対する 補助金。28年度から「青谷ようこそ夏まつり」として事業拡大を目指す。							
	事務事業の実施概要			【事業の成果】 継続して実施され、多くの地域住民に愛され親しまれている。実施主体と地域との連携が図られ、地域振興にも繋がる事業である。また、ステージイベント開催等により町外からの入場者もあり、交流人口の増加が見込まれる。 (1)事業主体 青谷ようこそ夏まつり実行委員会 (2)内 容 ステージイベント、屋台などの会場イベント 平成28年度は若手を中心とした新しい実行委員会による体制等の整備や、新規企画を取り入れた事業実施に伴う経費を支援する。							
				(3)	美 平成26 平成27	や、新規企画を 年度:入場者等 年度:入場者等 年度:入場者等	実績 2,00 実績 2,20	0 人 決算額 0 人 決算額	額 615額 615	5 千円 5 千円	
				からの7 活性化~	「委員会に 入場者を更 への足掛か	よる実施体制で に呼び込み交流 りとなるよう、 で市西商工会やよ	流人口増加に努 また、西いな	がめる。そして、 にば全体へ広がる。	、衰退する青名 るイベントとし	谷駅前地区の	
6.	活重	指標の達成率【CHECK】									
		指標名			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標	1	集客数				100%					
帰達成	2					T					
率	3										
7	1型化	# [CHECK]					'	-			
_	7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点			評価内容	容		評価理由(評価の視点を踏まえて記入)				
	年度計画の進場度 □ 1.			. 計画を上回	回る	入場者も目標通りの実績となり、地域との交流も図られた。					
計画:	iが3月末	タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選		. 事業未完了							
事業の成果 □ 1				日捶去上位		多くの方の参加	11があり地域との)連携も図られ、	地域住民に愛	され親しまれる	
		事業の成果		. 目標を上回							
		事業の成果 D入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	■ 2. □ 3.	. 日標を工品 . 目標どおり . 目標を下回	J	イベントであっ					
標を達	達成でき	D入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	■ 2. □ 3. □	. 目標どおり . 目標を下回) 回る						
標を達	達成でき	の入力結果を基に、年度末実績が目	■ 2. □ 3. □	. 目標どおり . 目標を下回 向性 【ACT	り 回る FION】		د	┃□ 4−1 意図	☑的に縮小		
標を達	事業	D入力結果を基に、年度末実績が目きたかどうかを選択してください。 業の成果を踏まえた今後	■ 2. □ 3. □ 後の方 □ □ 1. ■ 2.	. 目標どおり . 目標を下回 向性 【ACT . 拡充 . 改善継続	ION]	イベントであっ] 1-1 意図的] 1-2 制度的	た。 別に拡充 別に自然増加	□ 4-2 制度	度的に自然減少		
標を達	事業	D入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	■ 2. □ 3. □ 1. ■ 2. □ 3.	目標どおり 目標を下回 向性【ACT 拡充 ・改善継続 ・現状) □る rion] □	イベントであっ 11-1 意図的 11-2 制度的 12-1 手段等	た。 別に拡充 別に自然増加 手の改善	□ 4-2 制度 □ 5-1 臨年	度的に自然減少 年実施等、意図		
標を達	事業	D入力結果を基に、年度末実績が目きたかどうかを選択してください。 業の成果を踏まえた今後	■ 2. □ 3. □ 1. ■ 2. □ 3. □ 4.	目標どおり 目標を下回 向性【ACT 拡充 ・改善継続 ・現状) ⊒る ΓΙΟΝ]	イベントであっ] 1-1 意図的] 1-2 制度的	た。 別に拡充 別に自然増加 所の改善 な、簡素化	□ 4-2 制度	度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止		